

增補
頁書

別蒙圖彙大成

五

~~P
279
5~~

逍遙文庫
文庫6
27
5

喜

頭書增補訓蒙圖彙卷之九

器用

○ 幢ちゆうの翳えいあり旗はた筋すぢのさ
 ぐいかり楚しよにの情じやうといふ
 關かんの東西とうせいの幢ちゆうといふ
 ○ 銅雀幢ちゆうせつちゆうの幢ちゆうのから
 に雀せきと銅ちゆう少せうくはくといふ
 ぬりけ幢ちゆうちくすといふこと
 ともやくきくるとを雀せきのこ
 くかりといふや
 ○ 幡ばんの兵家へいけよりまきくると
 源家げんけの白平家はくへいけの紅友氏こうゆうし
 の水色みづいろ幡ばん家の黄竜きゆうりゆうといふ
 其外そのほかの家のこのにけりか



注和しゆわ小尺せうせきへん

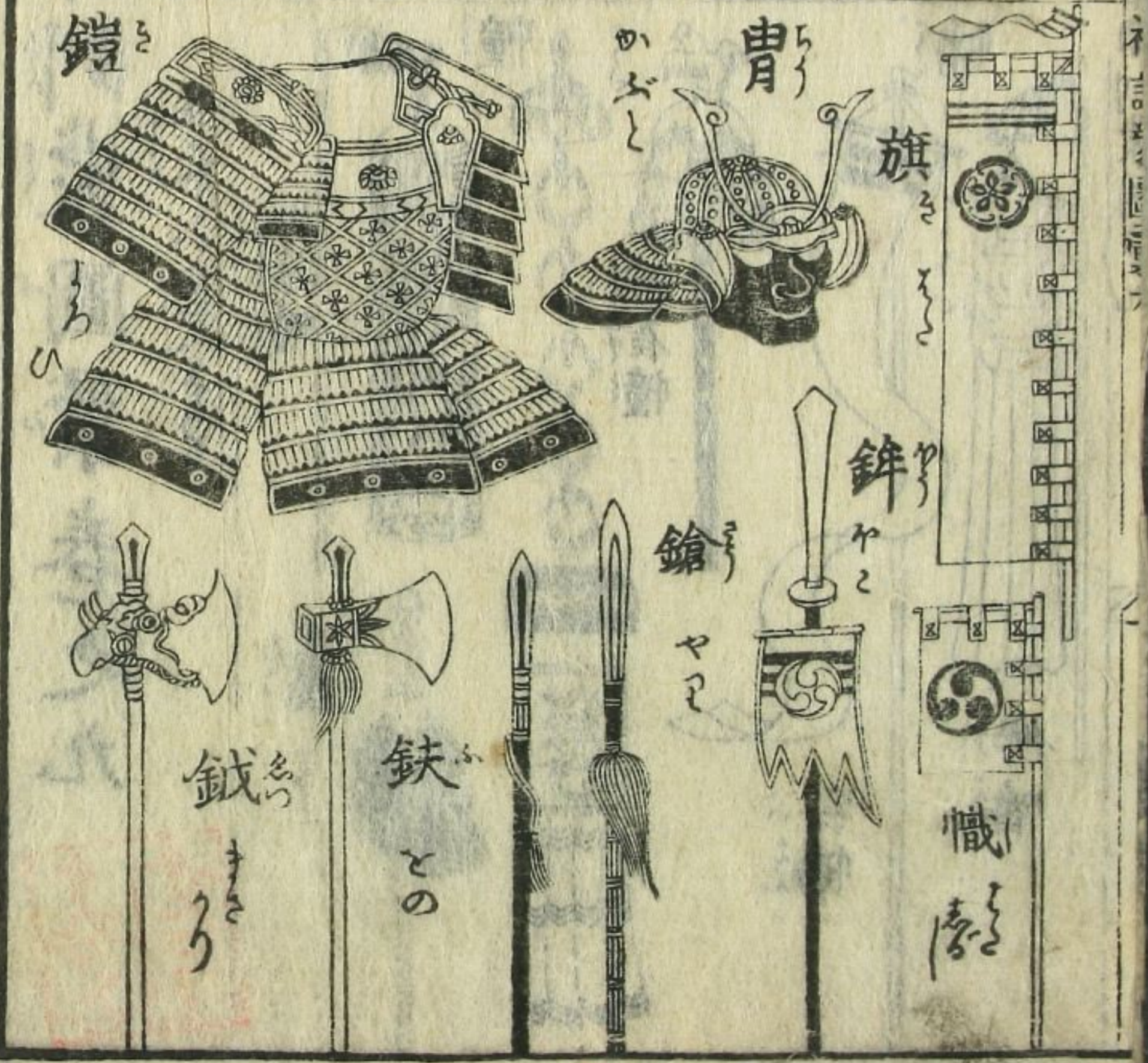
羽葆幢

毒縣

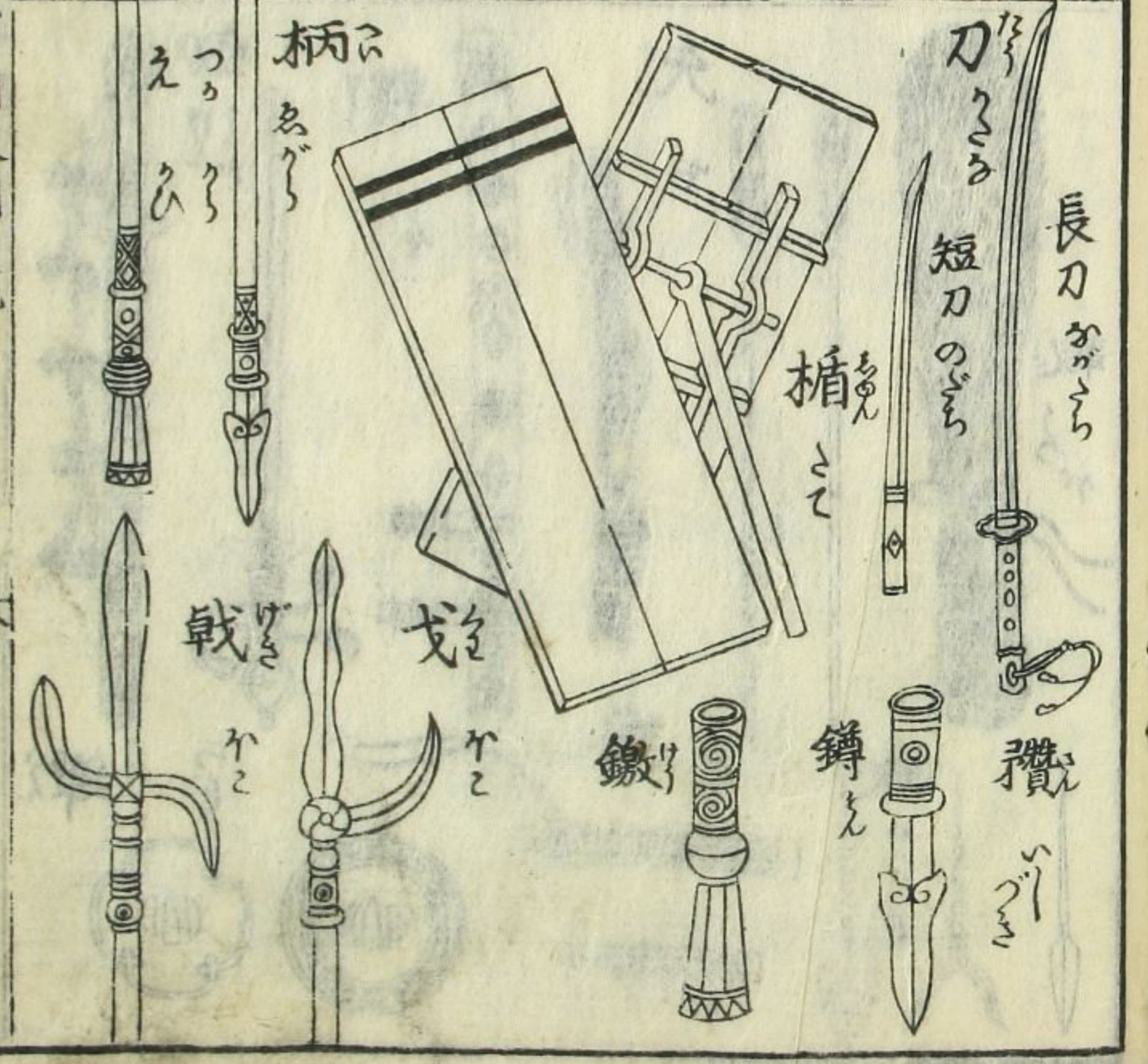
吉屋

頭書增補訓蒙圖彙

○毒懸の皂絲しほふつつつ
 虫尤むしが首くびにはりり黄帝わうてい
 のしらら女にをつる
 ○旗はたのしららのしららのしらら
 黄帝わうていよりりるる軍將ぐんしやう
 のしららありり幟しほいいるる
 ○冑かぶとのしららのしららのしらら
 乃すなはちち何なん鞆たもと冑かぶとのしらら
 乃すなはちち何なん鞆たもと冑かぶとのしらら
 ○鏡かがみのしららのしららのしらら
 卷まき矢や返かへ志し加かのしらら銀ぎん水すい香かうのしらら
 銀ぎん再また幣はに付つ等らここらら
 くくををるるももとと故ゆゑ具ぐ足あし
 ととのしらら
 ○鉾こしのしららのしららのしらら
 長なが二ふた丈じやう兵へい車くるまにに

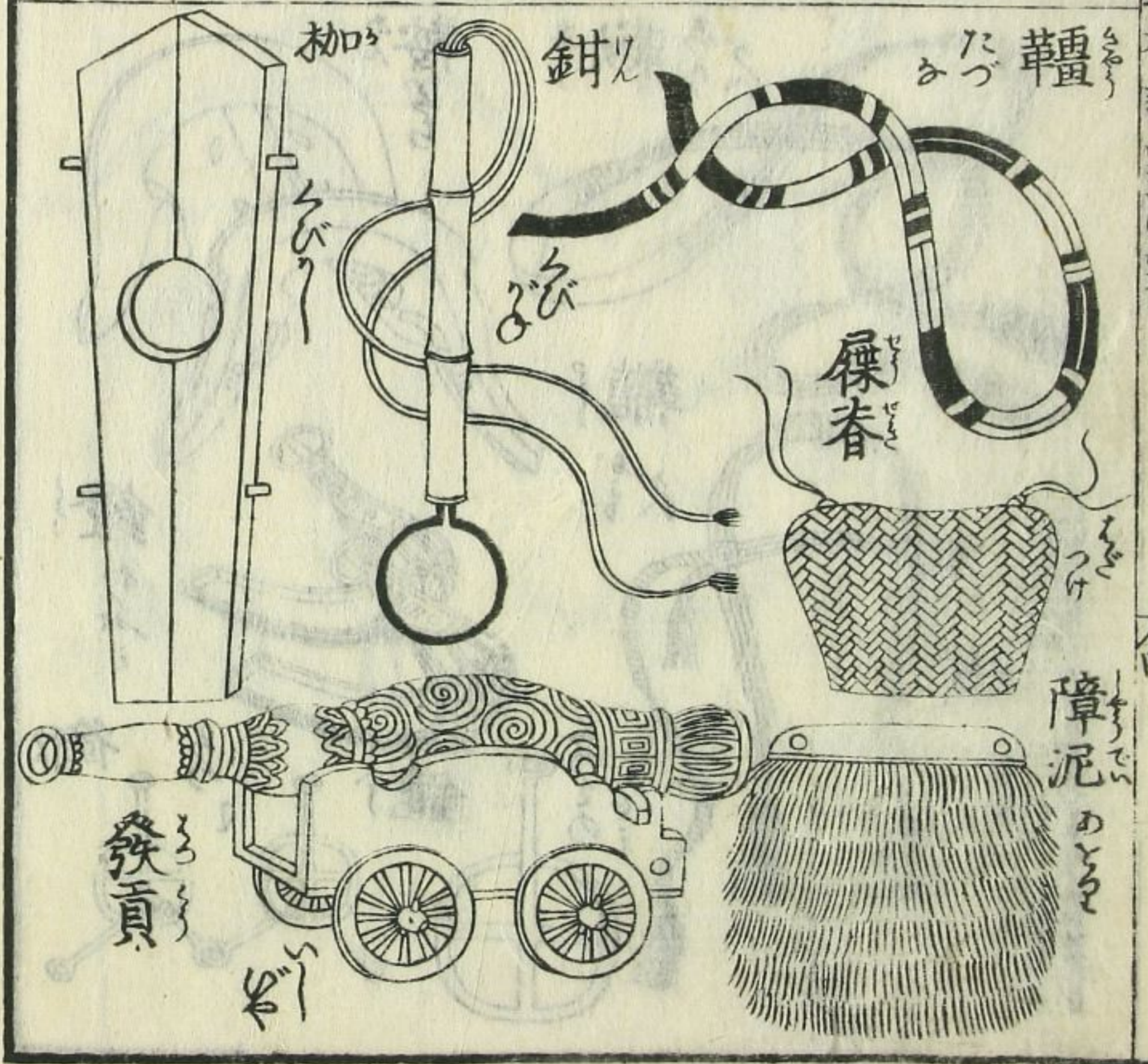


つらつらりりのしららのしらら
 ○鎗やりのしららのしららのしらら
 つらつらりりのしららのしららのしらら
 帝てい虫むし尤なほととりりのしららのしらら
 ○鉞せきのしららのしららのしらら
 重おもささ八はち寸すんのしららのしらら
 ○刀かたなのしららのしららのしらら
 刀かたなのしららのしららのしらら
 ○短たん刀たんのしららのしららのしらら
 短たん刀たんのしららのしららのしらら
 ○楯たてのしららのしららのしらら
 楯たてのしららのしららのしらら
 五ご尺せき盾たて于を楯たて牌はい並なら同どう
 ○柄えいのしららのしららのしらら
 柄えいのしららのしららのしらら
 鎗やり長なが刀たんににてていいとといいりり

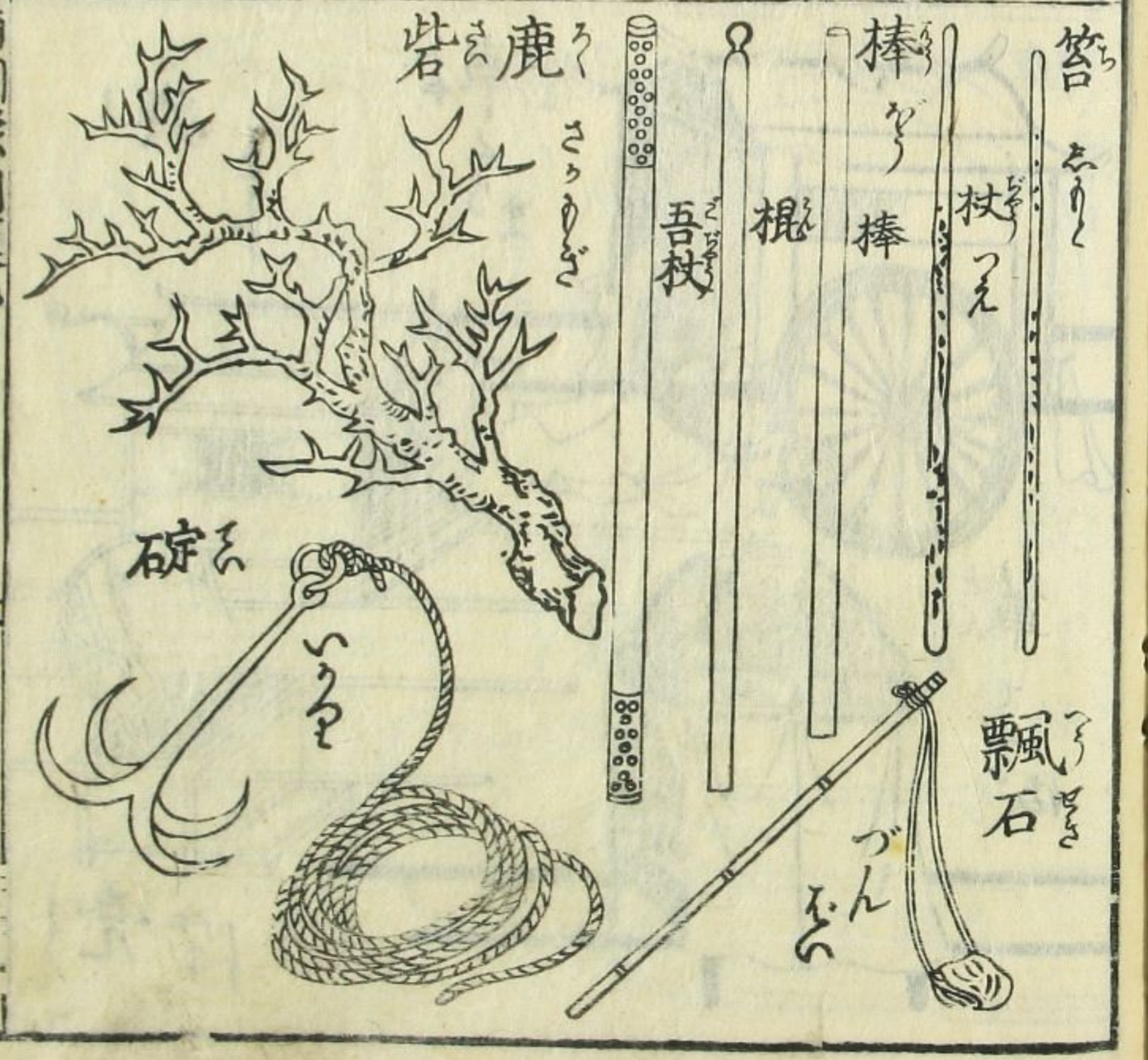


貞書館蔵 補刊 大正 國史 院

とも書あり
 ○鋼又今の十文字の鎗
 あり又鐘釵といふ
 ○鐵把の釵棒 鐵鉈同
 ○弩の黃帝つらりあふ又
 楚琴氏始てつらりとも又
 弓とよそへ臂につけ機
 とやこし郭といひけ
 に加ふふ力といひくを
 ○火笠前敵の陣屋射
 てやがらぬやりのあり炮
 櫛火矢大國火矢といひ
 わりあり
 ○鐵鞭の雜色のものも
 がうかりうかぶらといふ
 ○鞍の鞞同鞍橋といふ



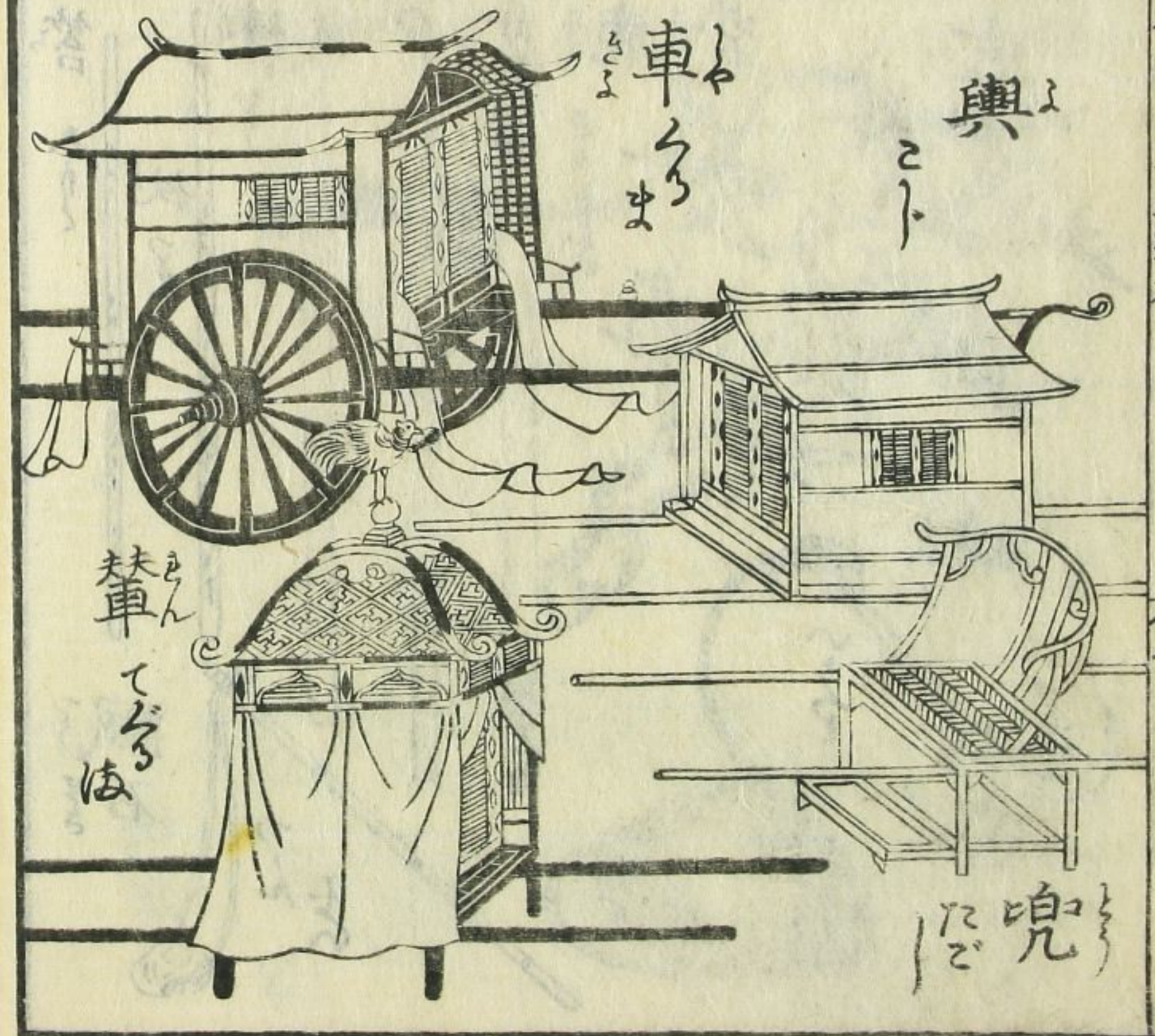
鞍の三代のたれ制と轡に
 名不多く今畧之鞍褥
 々々たる鞍被の鞍ぢりひ
 後いふてあり
 ○鐘の鐘の頸逆軛といふ
 るが儀鉸具といふ頸乃
 輪と鉸具頭といふ
 ○銜といふといふといふ
 の馬銜より又馬勒脚
 鐵よりいふ同一馬乃
 うしふわり俗まうといふ
 ○鑣の馬口のふわり俗
 にくつこの心といふ又響
 鐵ともいふ響同
 ○鞍の馬の尾はるといふ
 ひものあり鞞同當骨



頭書が不詳な箇處あり

腰帶

○ 龍馬の頭はまると飾
 多し又絡頭とも書べし
 ○ 鞭 策 策同又櫛と
 も書べし馬のむらあり
 ○ 韁 手網あり口にあは
 ると韁といふ八尺二寸九尺二
 三寸のものあり
 ○ 腰背の鎧のちこにきき
 るものあり鐵小てつる
 ○ 障泥 鞍のふろあり韁
 鞣同熊鹿の皮あて作
 ○ 鉗 柳のふ罪人と禁
 獄とも具拵拵ともて
 三道具といふ
 ○ 柳のふり多り足械も



の拵のふり多り手械も

○ 發賣の西漢といふ物あり

つるものいふ南蛮より房

西といふもの日本に獻じ

○ 管いさりの多り杖らえ

力あり

○ 棒 棍も棒あり

五尺杖のふり切本棒也

○ 飄石のふりつるものあり

又碎管とも書べし

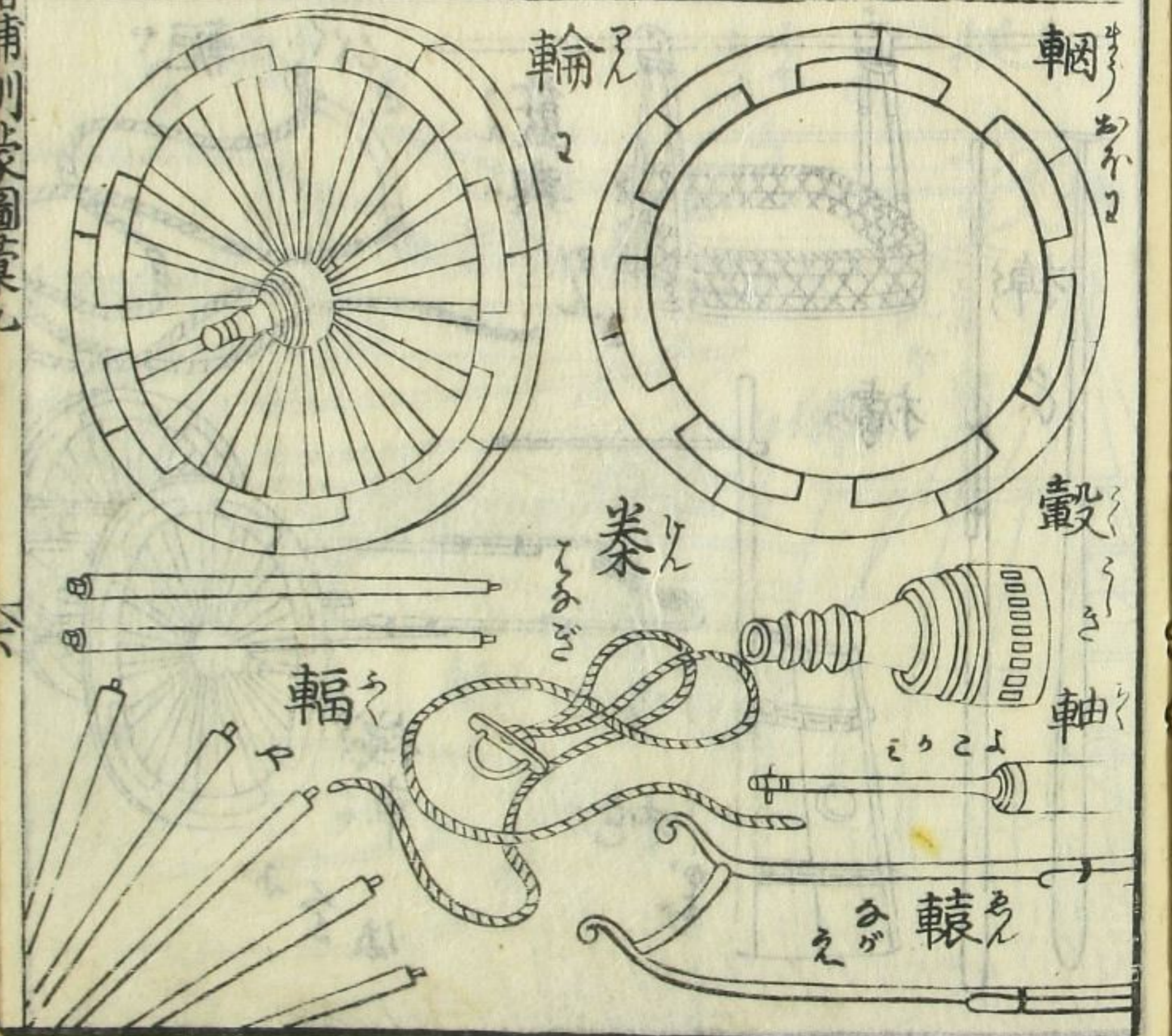
○ 鹿砦の棘木あり地う

うして人馬のあはれとては

くげく軍の要害とて

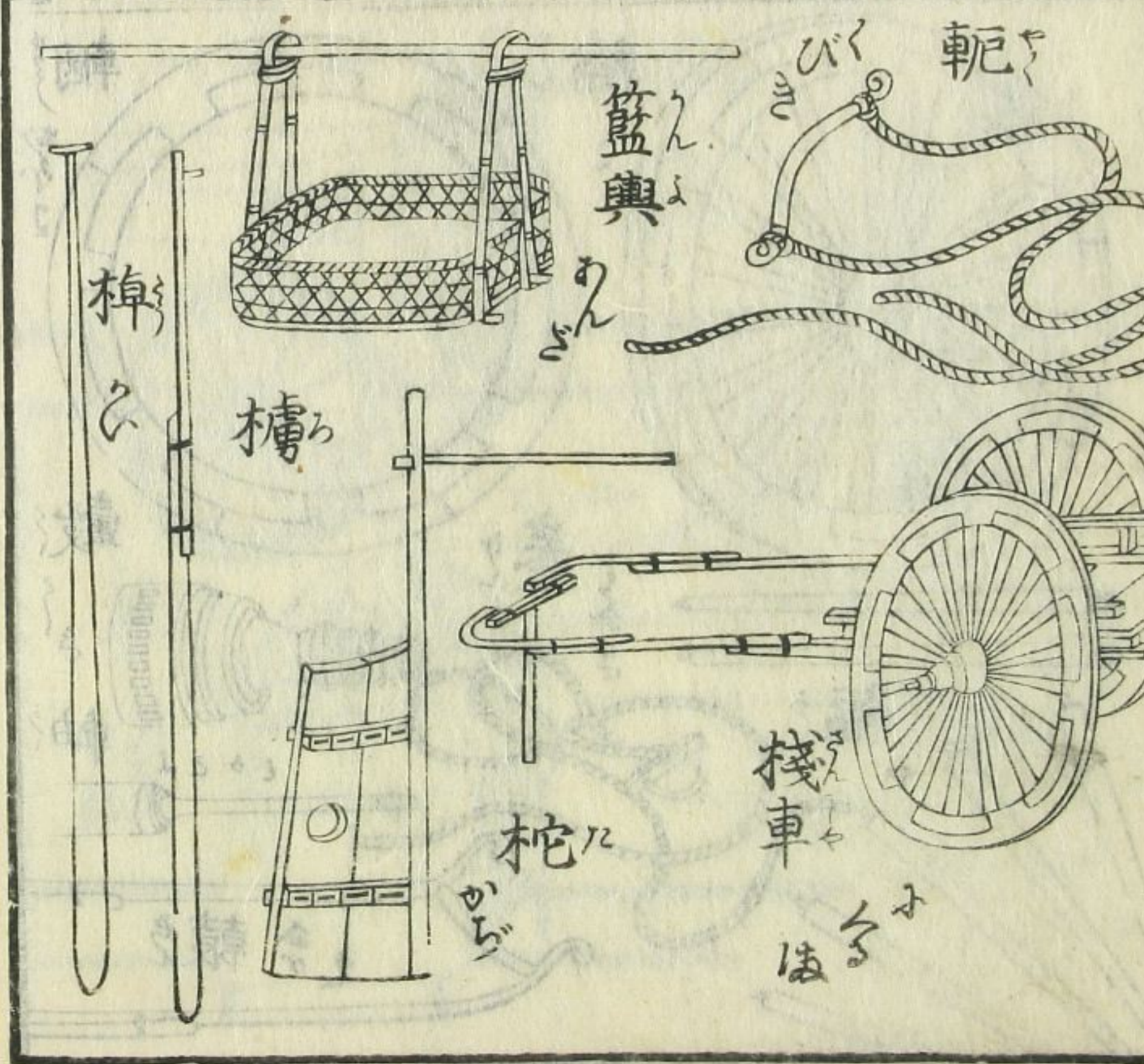
○ 碇 舟の鎮むる石あり

とてり碇同いふものあり

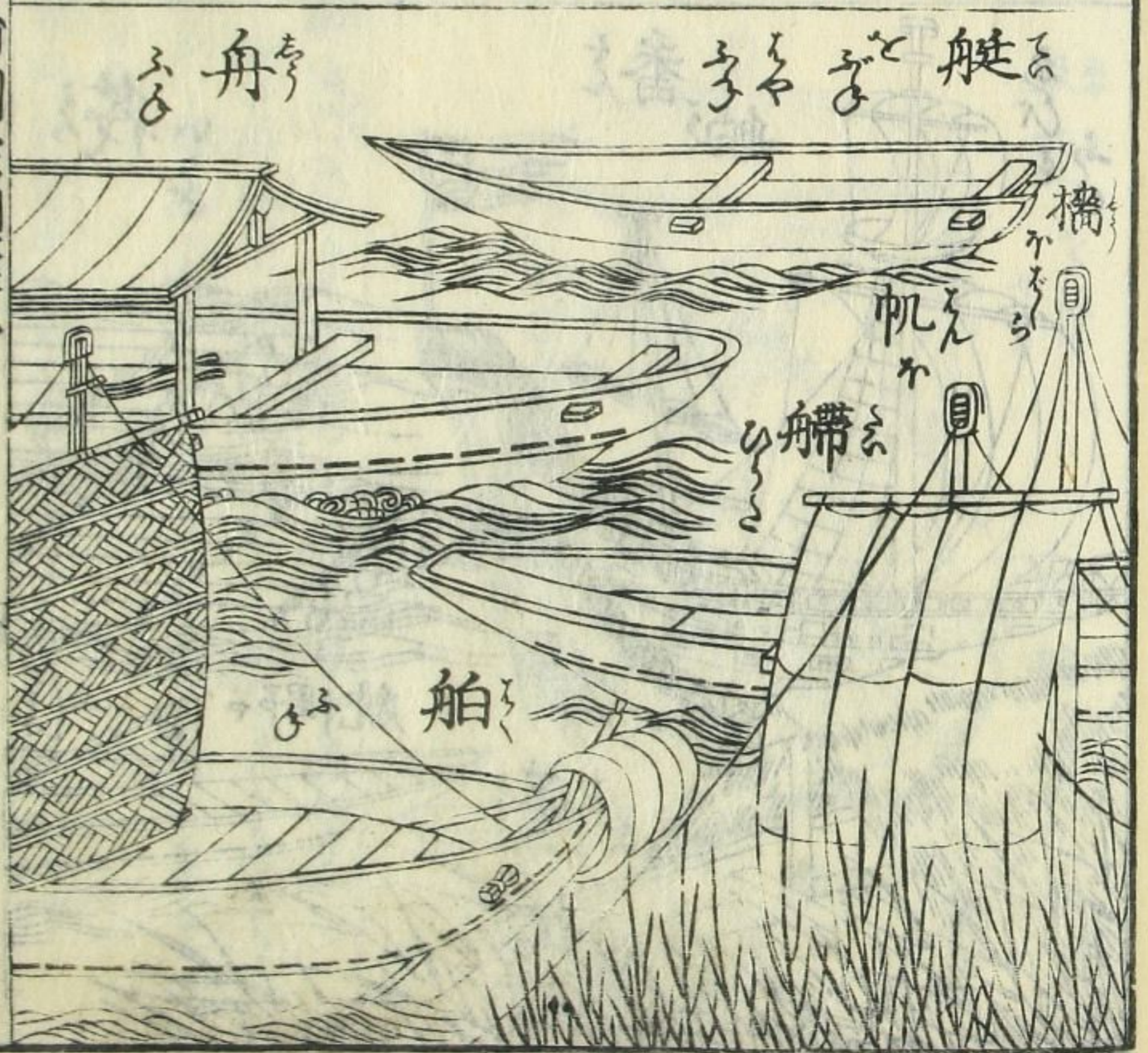


頭書が不詳な箇處あり

○車い少昊のとれ牛と駕
 プ一馬のとれ馬と駕と今
 圖もつ不日本五緒
 車なり天子女御を乗
 せりふらばなり
 ○輦ハ天子のけりあり御
 輿かり御輦ハも王輦と
 もつ又鳳輦ハもつ
 ○輿ハも輿かり肩ありせ
 かと肩輿ハもつ竹あり
 わりも竹輿ハもつ今
 つもつあり
 ○兜ハもつ一カと兜橋
 腰輿ハもつ和尚上人
 國師禪師ハもつ輿也



○輦ハ車の輪外のつと
 かり大輪あり輦牙と云
 ○輪車輪古の聖人轉
 蓬と見て車とつと
 ○轂ハ輦ハ漆和轂ハの館
 とい金といふ
 ○輦ハ車の輪とつとつと
 カと輦ハつとつとつと
 ○輦ハ車の系れ曲らる本と
 つと輦同
 ○棊ハ牛の鼻とつとつと
 ののかり奉養並同
 ○輦ハ轂ハつとつとつと
 ○輦ハ牛の頭とつとつと
 輦ハつとつとつと
 ○棧車ハつとつとつと



役車を車あり

○竹監輿い今つふあんど
わととあり使輿竹輿
同

○舵舟のうらあり拖舵
同又權ともまぐり

○櫓の櫓並同縦し用は
櫓といふ横し用と櫓とま

○棹舟とやちあり篙
かた

○舟の黄帝の二長共鼓
貨物舟とつらふ又廣船舟
とほつらふ伯益つらふ種
つらとつらつく航船し

○艇の船のちいさくし
長といふ二三百斛以上と
艇といふ舸同

○舶の海中の大船あり
市舶商人の舟とあり

○船も小船ありしとふ
ね船といふちてゆとち
舸ともいふ俗なたるしと

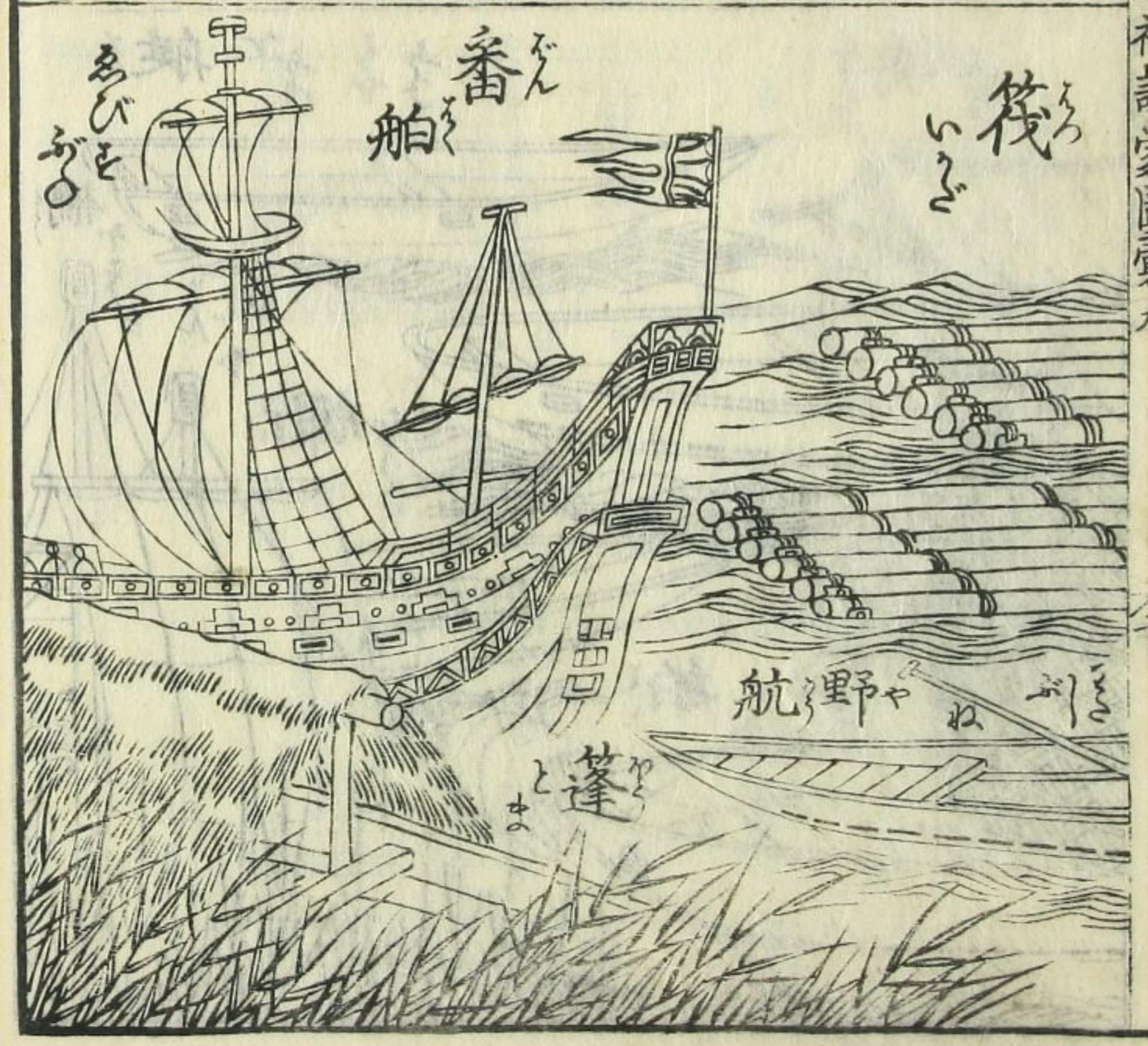
○帆の舟上の幔あり風は
ちとちいて船とちとちと
あり帆維のちとちと

○櫓の舵帆竿とちとち同
ちとちとちとちとちと

○野航の小船ありしとふ
○榑といふ竹の筏といふ榑同
○轆の車の輪はありしとふ

○車蓋の車のやとあり輦同
に黄屋ともいふ蓋はありしとふ

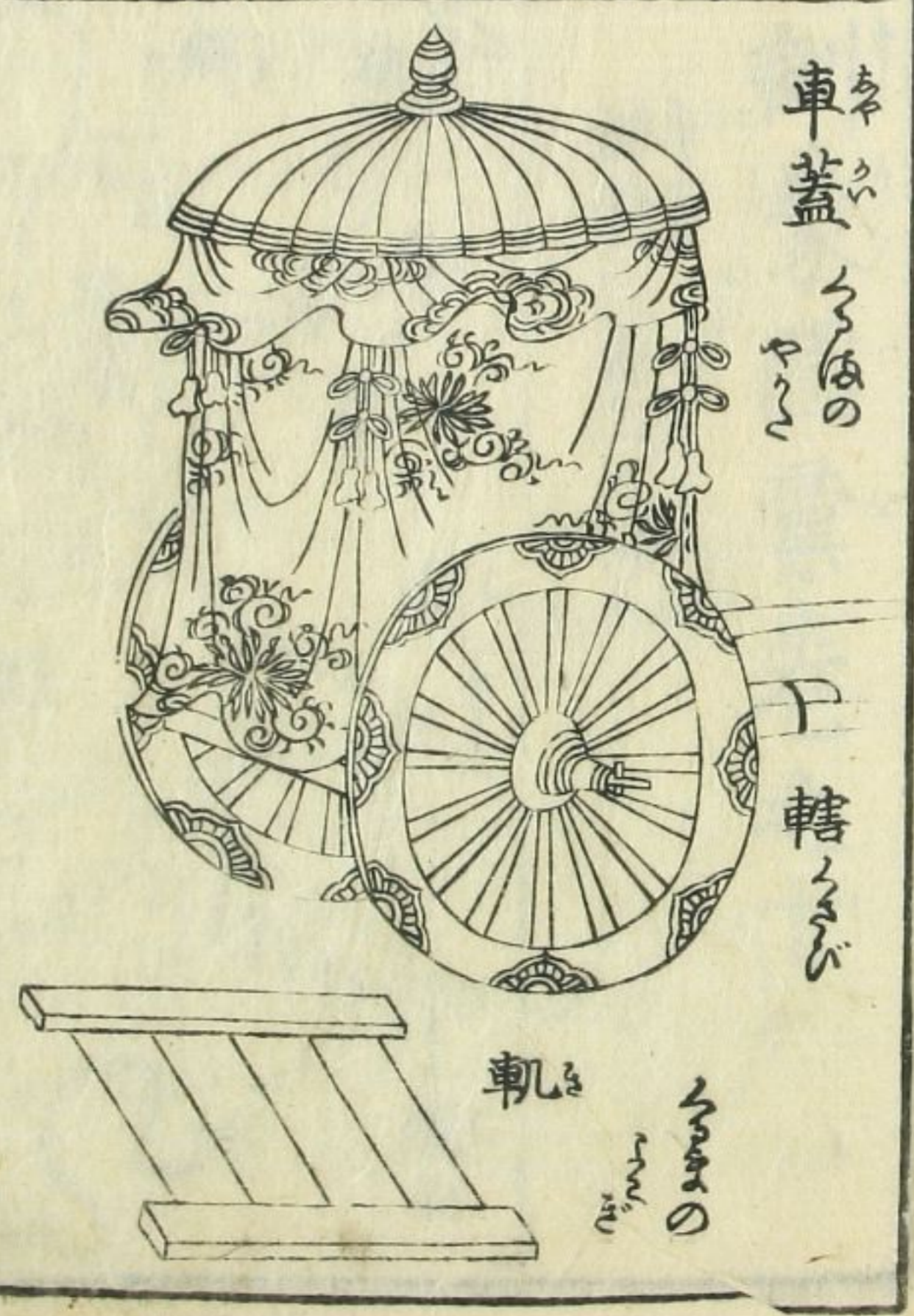
○輦の車の輪はありしとふ
○輦の車の輪はありしとふ



筏

番
航

舟



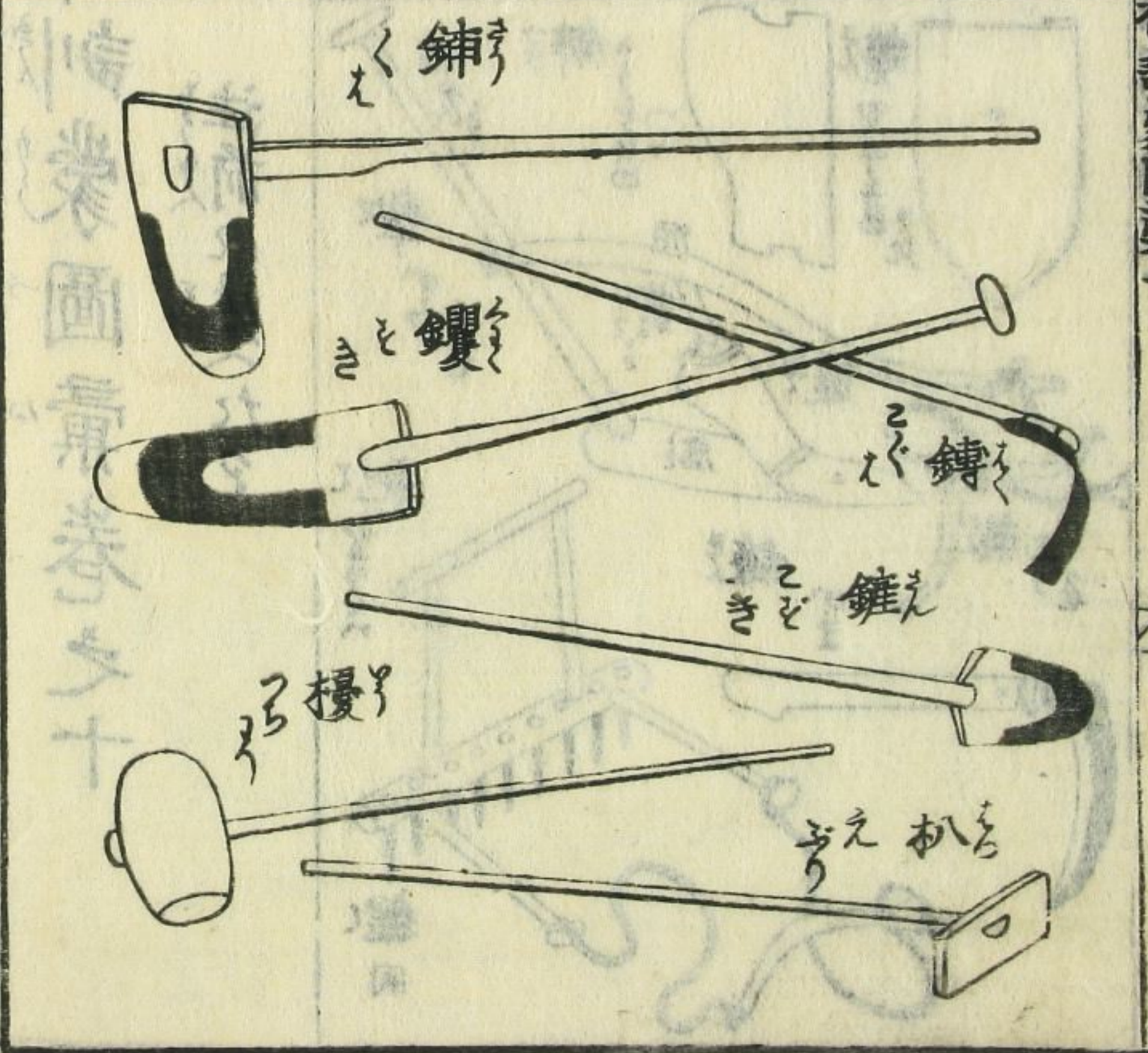
車蓋

輪

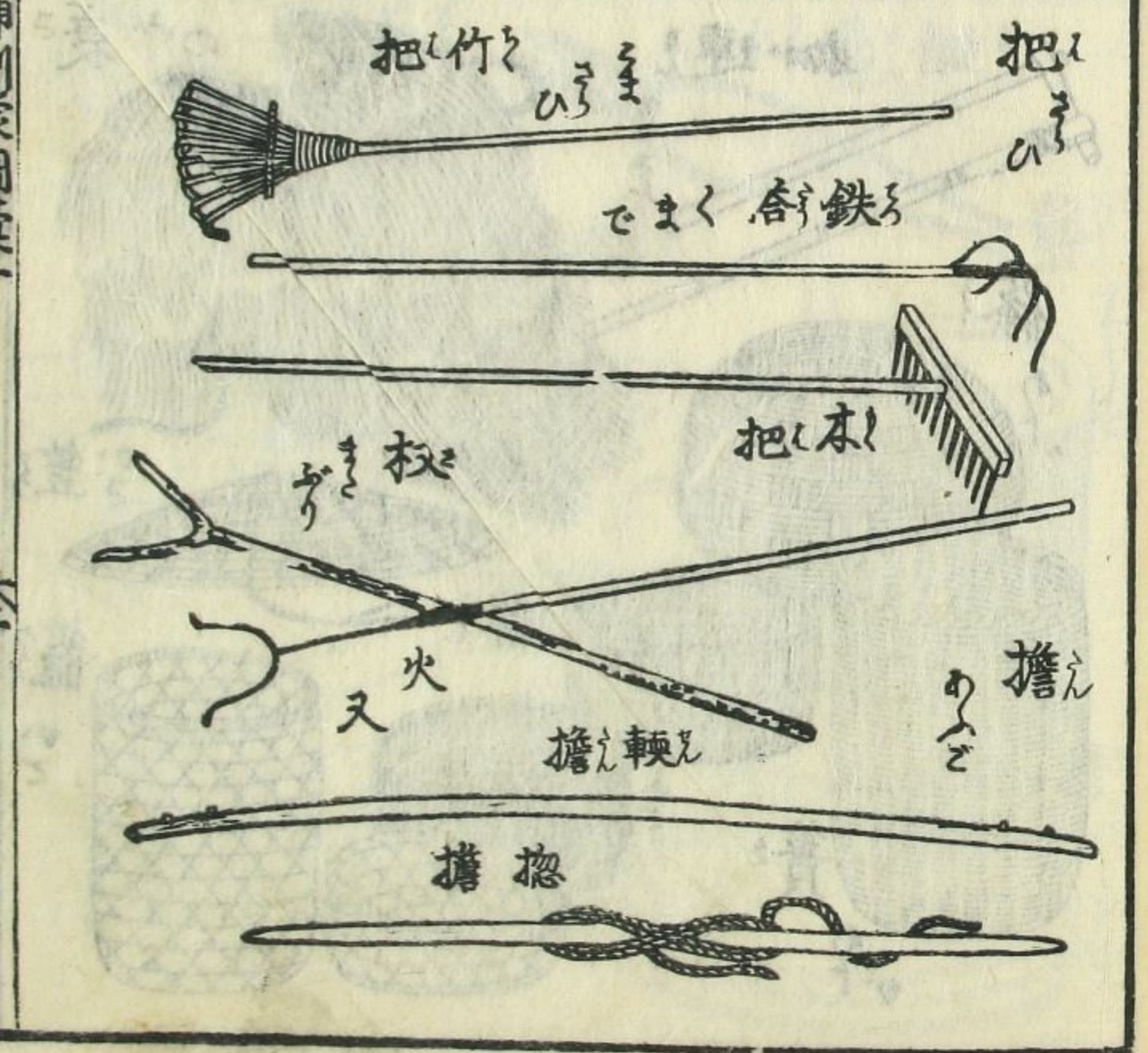
輦

かちらたつと蓬の榑同行はとて若とあて船とありしとふ
○野航の小船ありしとふ
○榑といふ竹の筏といふ榑同
○輦の車の輪はありしとふ
○輦の車の輪はありしとふ
○輦の車の輪はありしとふ
○輦の車の輪はありしとふ

○鎌のつかま 鍔かき
 新月似磨鎌と杜南
 が詩ふもつらさるるなり
 ○鍬の鉄金 中り
 南函 鉄金 中り
 に同
 ○鍬の大鉏方を
 農具の黄帝あまを
 洗くろ 胎て民ふかしく
 て田地とくくめあふ
 鍬 鑿 中りいふ同
 ○鍬のこくを



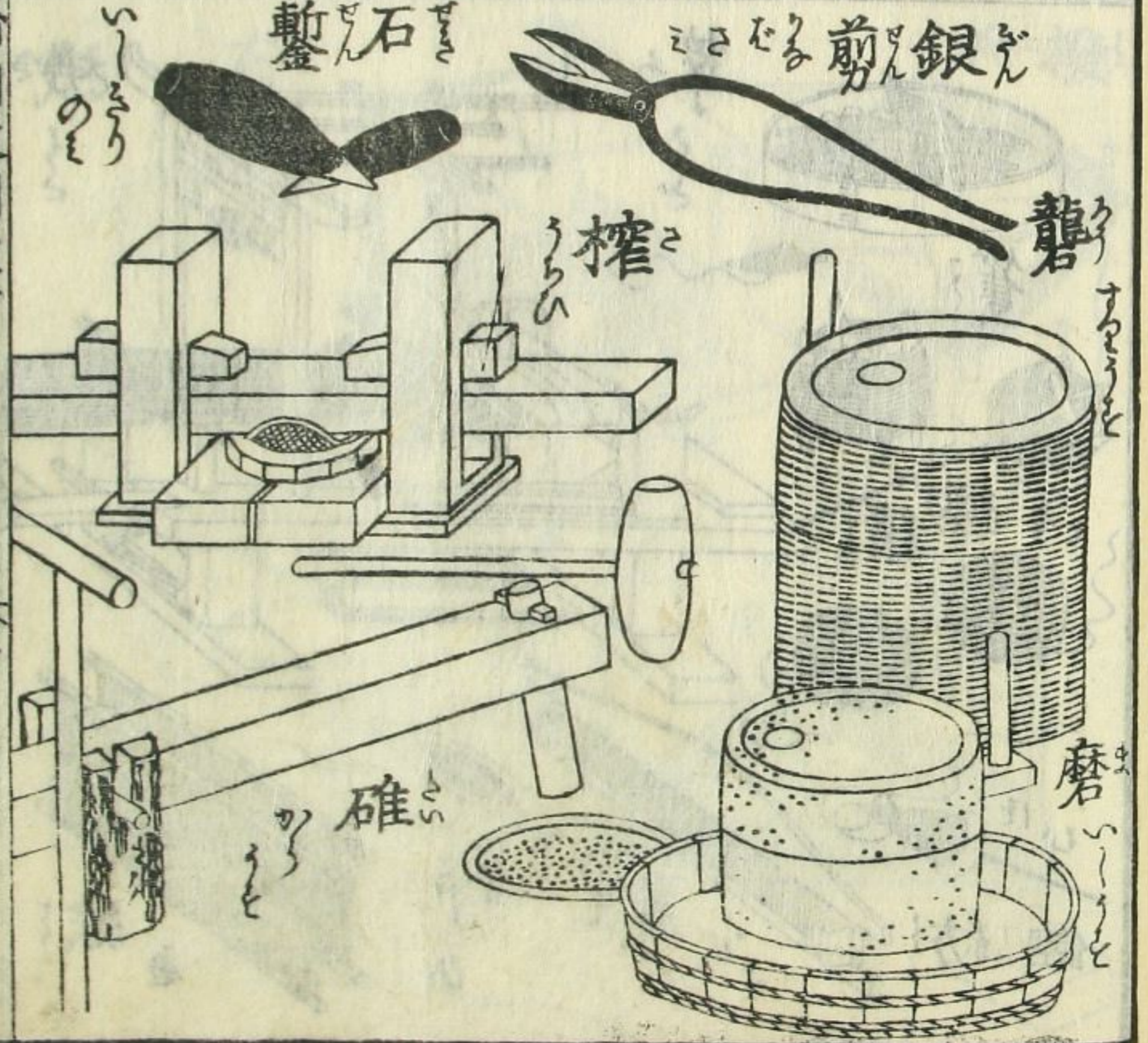
こまのせまに田地の草
 とける具なり
 ○鍬のやとりあまを
 杓とこまをこまに杓の
 鍬のたぐひかき
 ○擾のつらさるるなり
 擾堀 槌 中りいふ同
 ○擾の塊とらん 槌 中り又
 田を摩器かき
 ○把の田具より 麥 瓜
 かきしる器 中りいふ同
 ひかりを本にてつらる



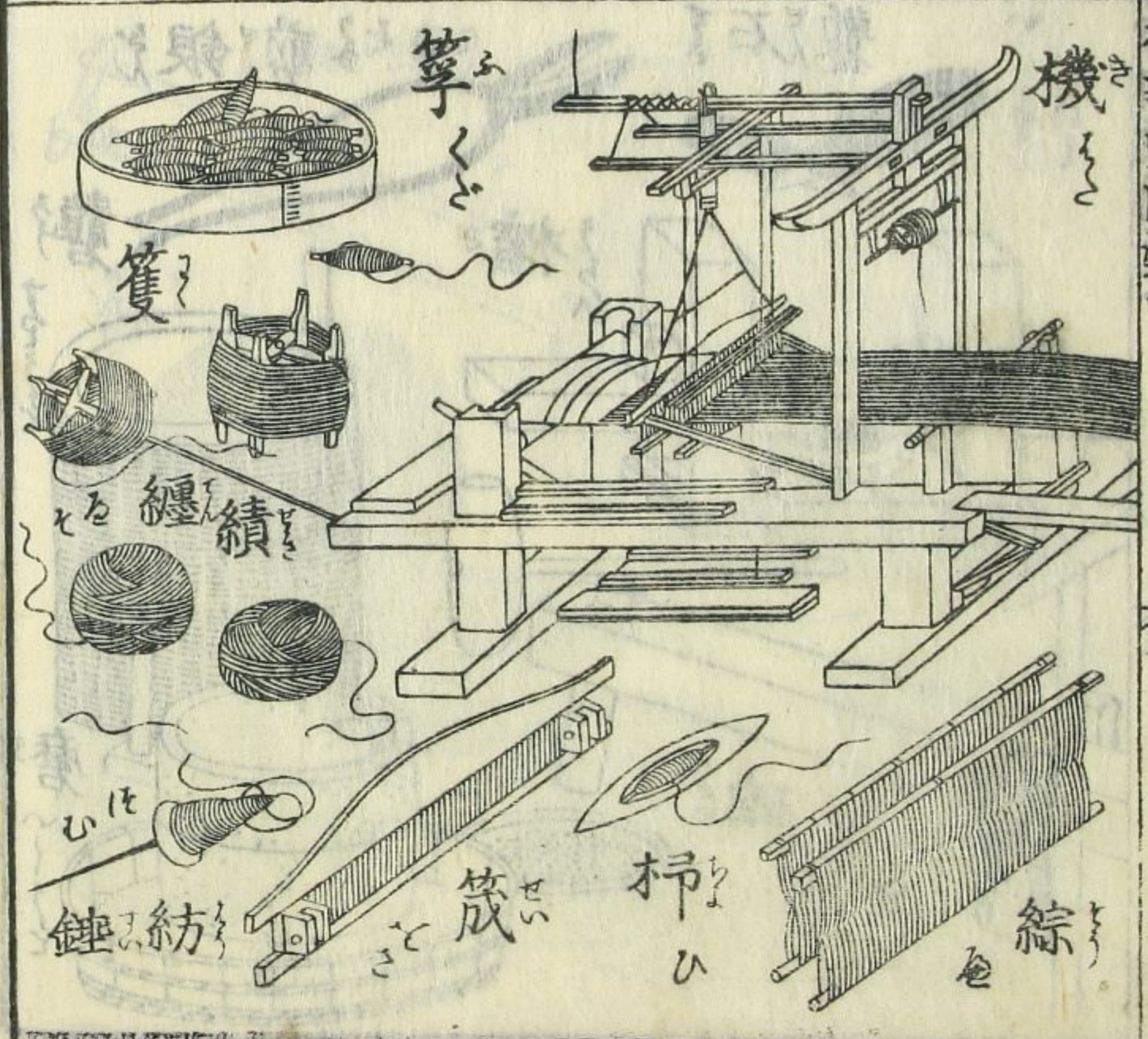
○鉄塔の塔はくももの
 もよひ俗よく名でし
 ○竹把はこはうひとよ本
 葉はくももの竹を
 ○おの樹同えよりありお
 把は齒多きものあり土
 うたよものあり
 ○檐はあふふ背と員と
 つの荷と檐といふ檐杖
 輦はやまのへこ通檐たび
 のへこあり
 ○杖の枝本かりまごう
 ○蓑の雨衣より西丈の服也
 みのかり
 ○笠ハ箬笠かり天の
 ちの笠のてしりて敗笠



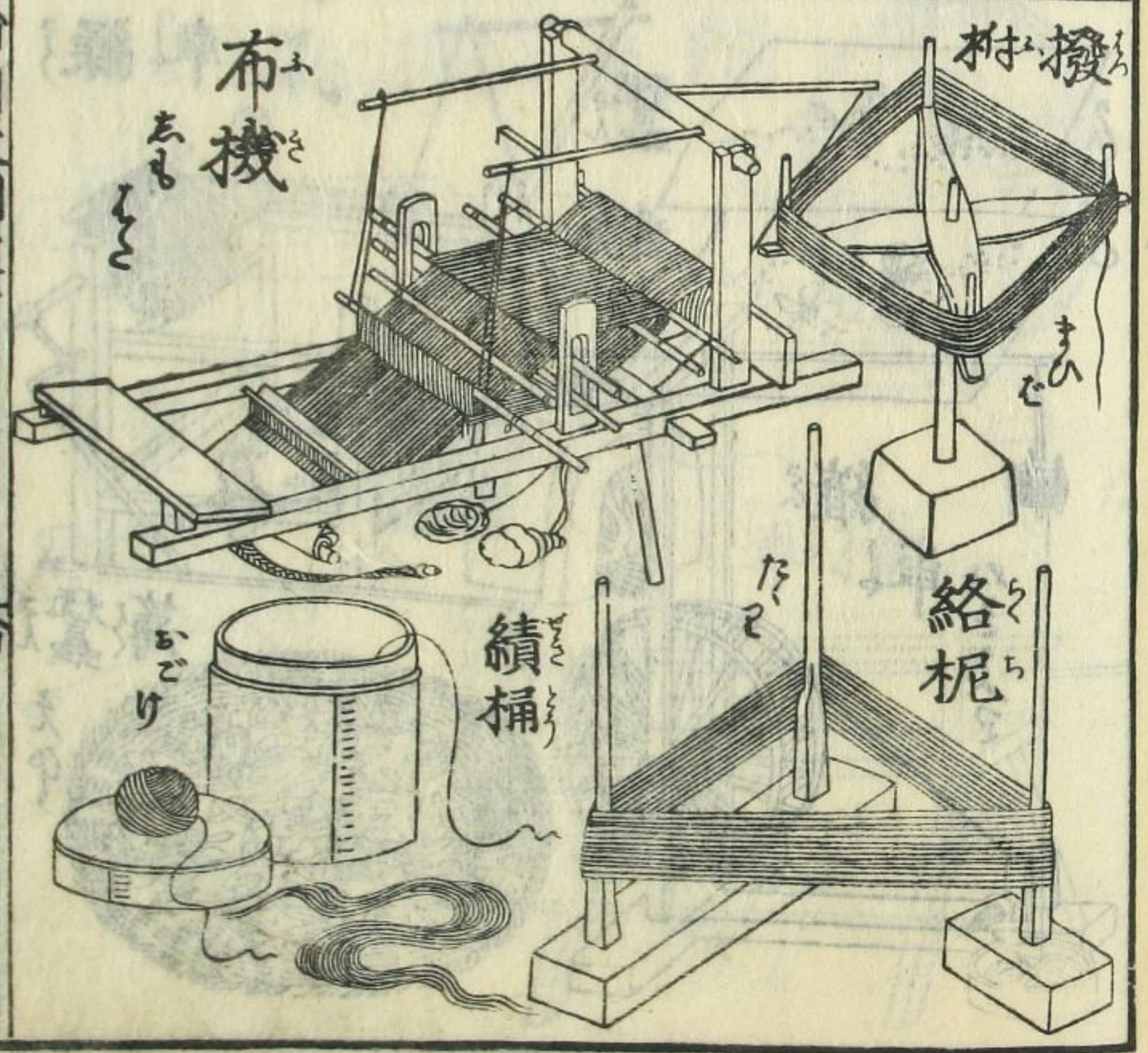
と破天公といふ
 ○籠は土とわさ器かり竹
 けくはる
 ○釜は土とりの器かり藁
 ちくはるふごといふ
 ○篠の草と去るりのり
 ましめてはる
 ○篋は土とりの器かり
 竹ちくつる
 ○連軸の麦粟かりかち
 て穂とくぐ具かり
 ○籠はりこころをかり土
 わるひの本ちくつる籠
 礎ちくつる
 ○磨はみくももをかり
 よいこころをかり精と



○ 碓の必儀杵臼と制と後
 世小巧と云ふカと借て碓
 とふ利十倍と
 ○ 機いもろり織り経
 とりのめと膝といふ緯
 をのりとの瓜杵といふ棧
 即機機囀
 ○ 綜機とちるをちるま

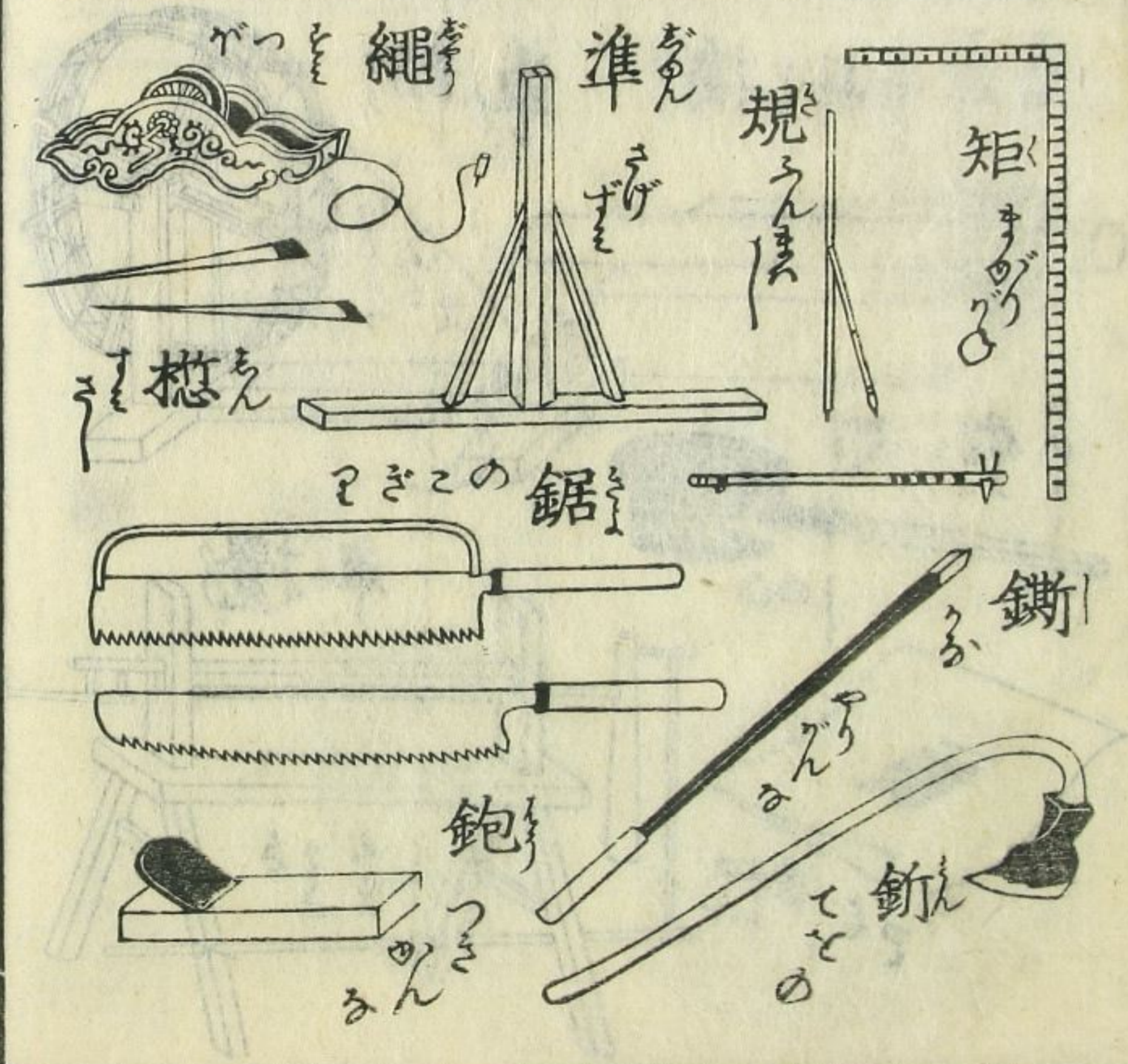


細線とも書べし
 ○ 杵いひかり梭同機と織
 とれ緯といふものあり
 ○ 笠のこまあり 紐梳同
 籠框い今いふちさすち
 ○ 笠の筵と同維いとい
 ○ 篋の篋鯛棧同
 くの柄と柁といふ又桶
 銅ありい小同
 ○ 績纏い草とてこめて
 丸くすたけらるが胸のこ
 くありとらと名づく
 ○ 紡錘いはいあり又の槁
 ととも瓦とも書べし
 ○ 撥樹いといふのりあり舞
 のあり蟠車とも撥車

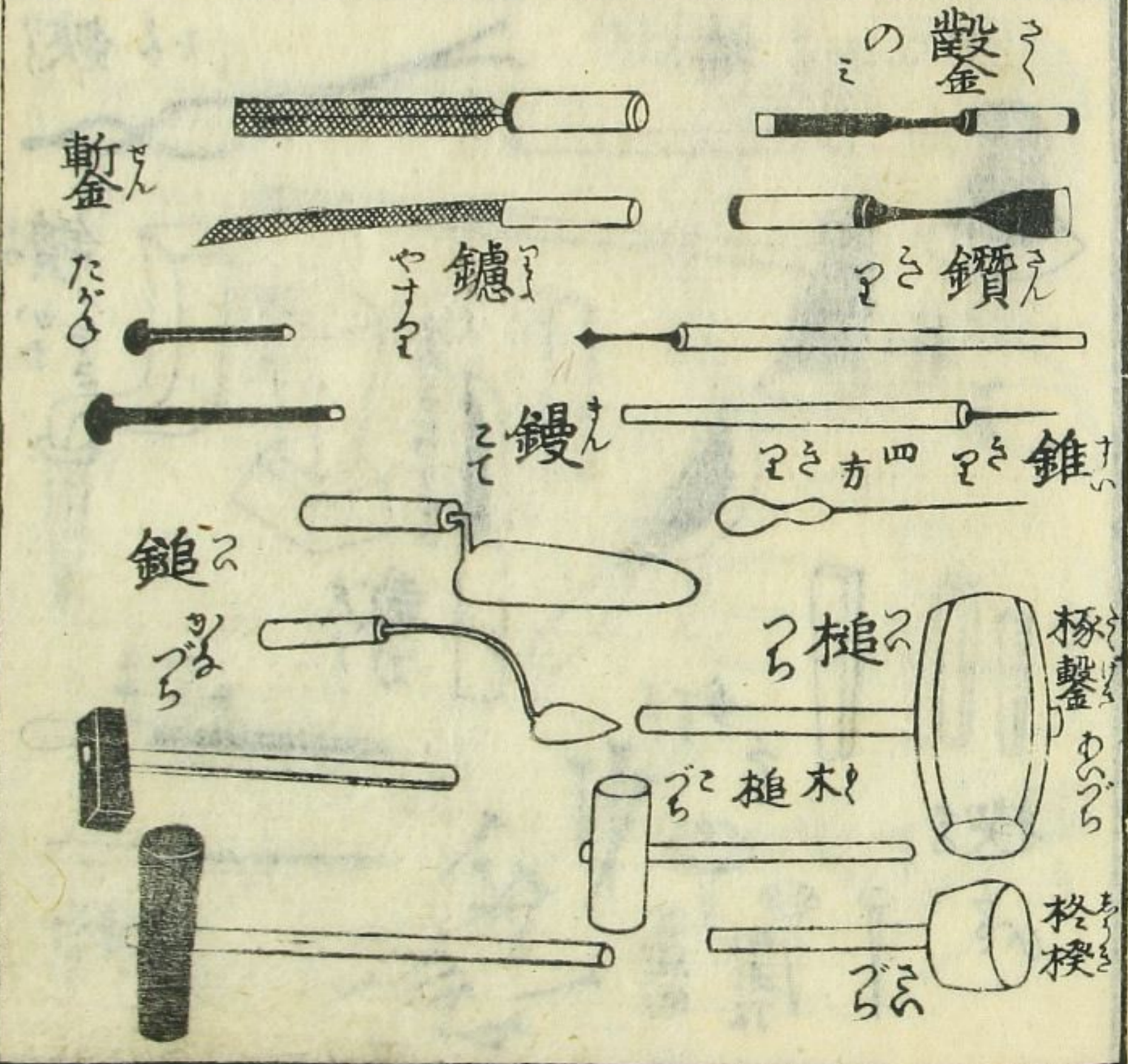


頂書曾神川袋圖集

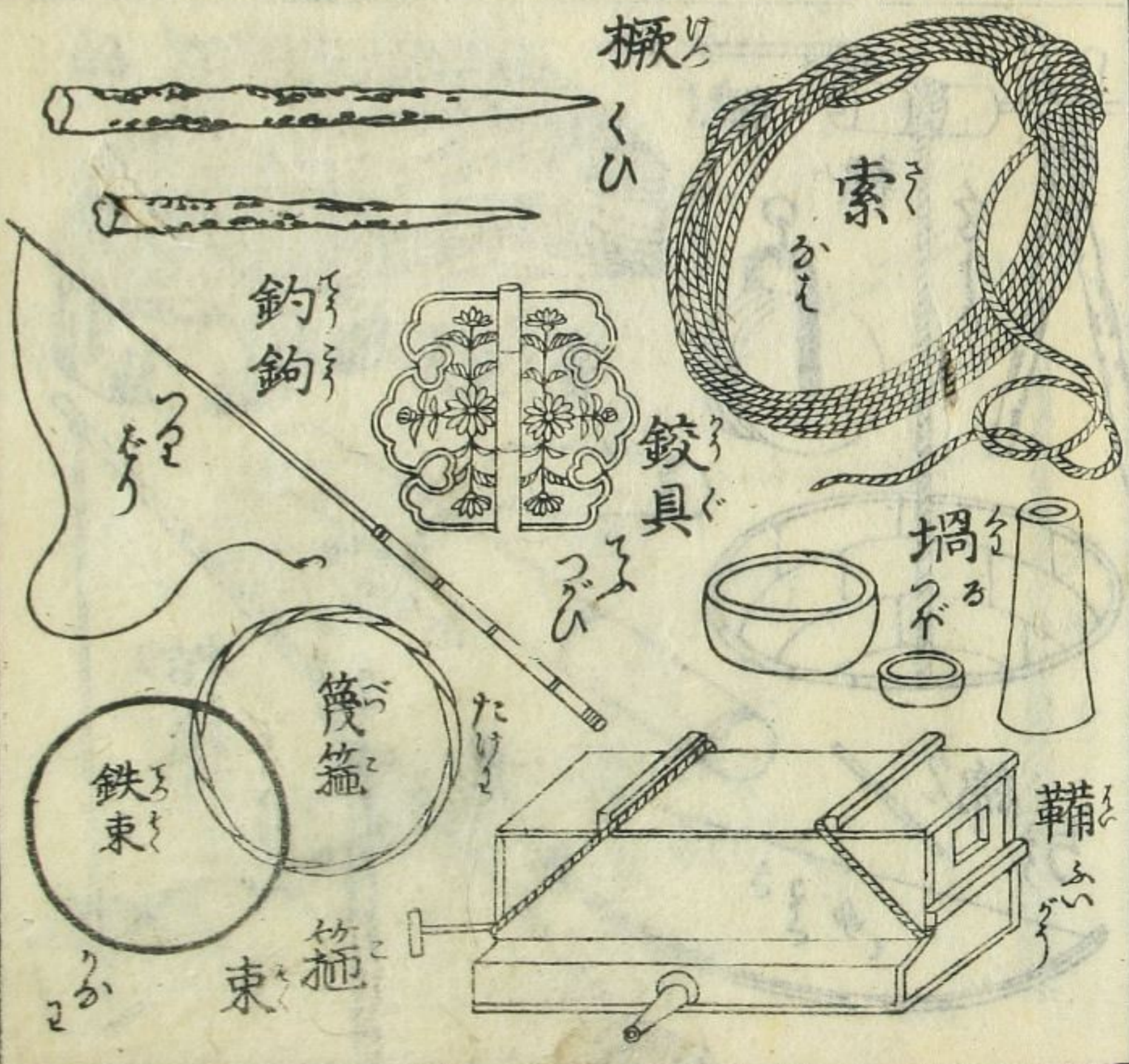
○矩の方多しつるもの
 匠人の具多し曲尺ありは
 規の圓多し公法はさるもの
 俗のつらふんまわし
 ○準の水とつらふんまわし
 物さりの多しつらふんまわし
 ○垂準同ト
 ○繩のまことつらふんまわし
 物さりの多しつらふんまわし
 ○摠の竹筆あり後同ト
 番匠のものをさしつらふん
 ○釘の斧多し
 ○鋸の木と平にさるものあり
 つらふんまわし



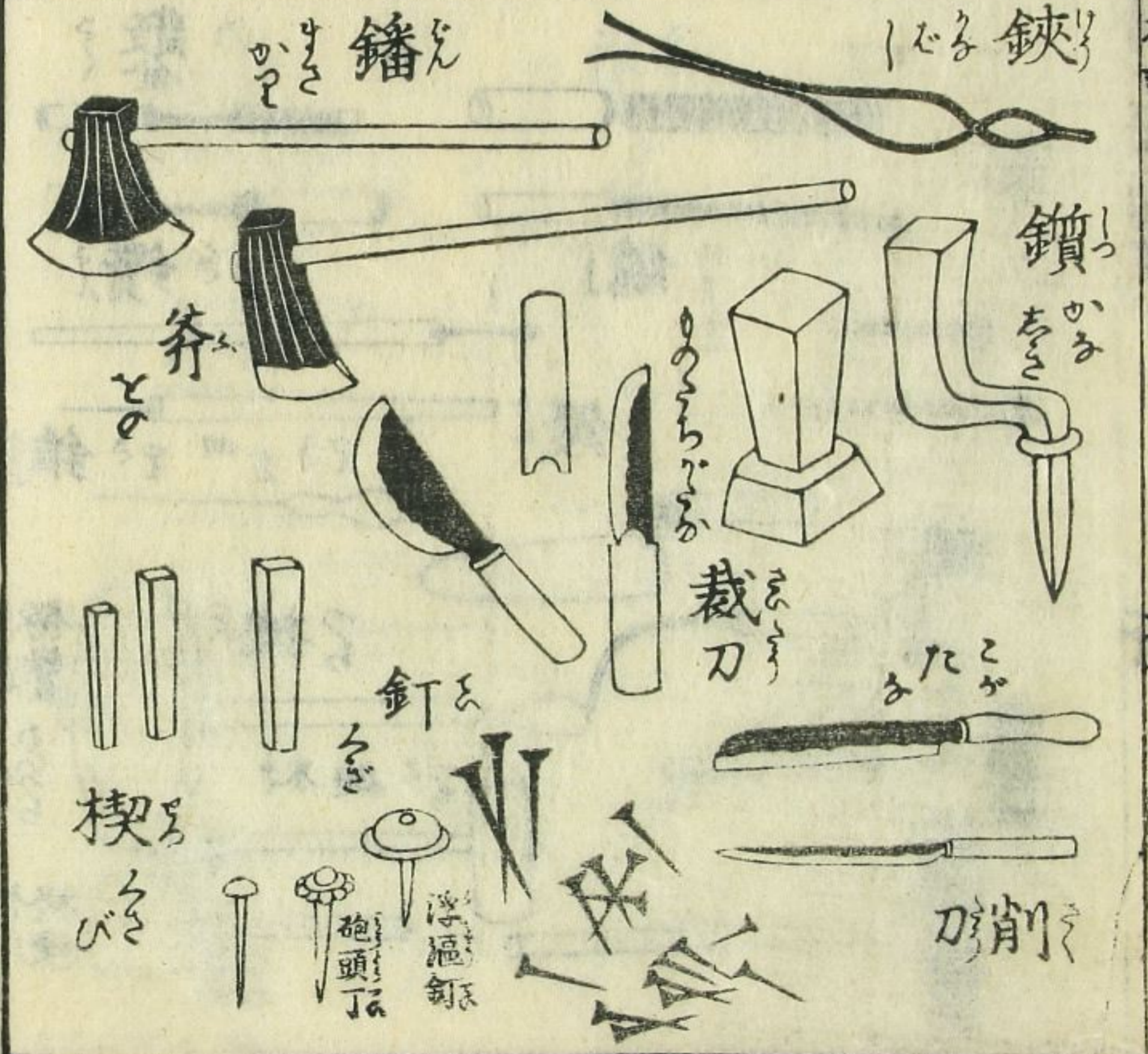
○鋸の刀鋸多し大あり小あり
 ○鉋の木と平にさるものあり
 推刀 鼓刀 同
 ○鑿の金あり三分 鑿金 五分
 のさしつらふんまわし
 ○鑿の金ありのさしつらふん
 ○錐の圓錐のつらふんまわし
 錐の四方あり
 ○鑽の物とつらふん錐のつらふん
 物さりの多しつらふんまわし
 ○槌のつらふんまわし
 物さりの多しつらふんまわし
 ○鑿の摩錯の器ありつらふん
 多し錯錯のつらふん
 ○鑿の金石とさるものあり



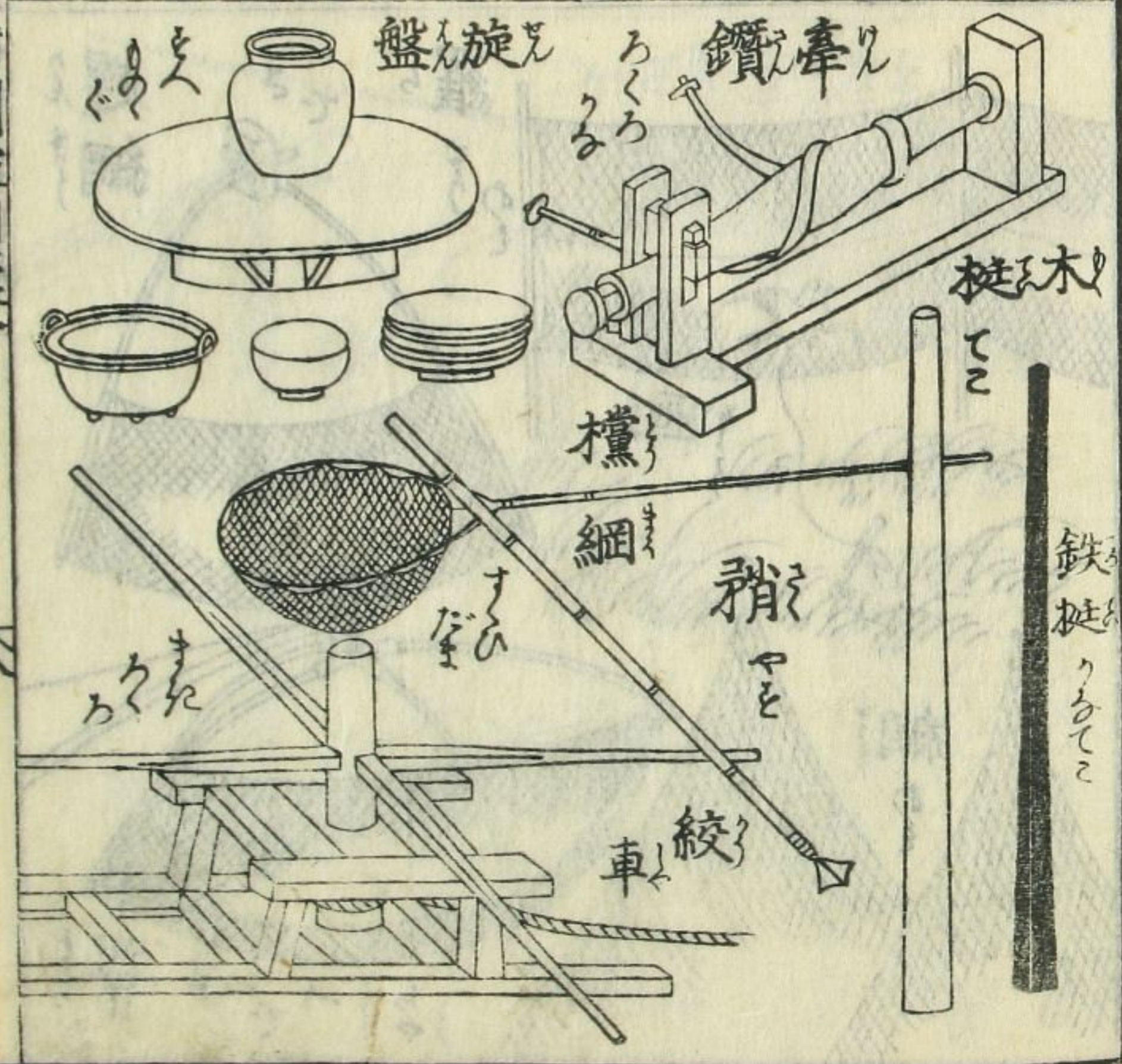
の音とゆりてしよ
 ○索くわい大おほい小こ索くわいといひ小
 かんかん繩じゆといひ
 ○浮うき漚う釘ていののああららききあり
 俗よこよよののああららきき環わん甲があり
 砲ぱう頭とうのの俗よこといひ
 ○塙えんららつつややああららきき塙えんとも云
 壱いち同どう型がた模も壱いち並ならいいとて
 ○鞆たづなのの袋ふくろ箆へらとも書かべべ踏ふ
 鞆たづなたたら
 ○概がい采さい段だんかかりり杖じやうかかりり槩がい
 椿つばきかかららいい小こ同どうくくわわかからら
 ○鉸かじ具ぐのの蝶てつつつががいい蝶てつ同どう
 ○釣つり鉤かぎののつつままりりかかりり釣つり
 竿さしののつつままりりかかりり釣つり
 餌えのの急いそ送おくり子こののつつままりりかかりり



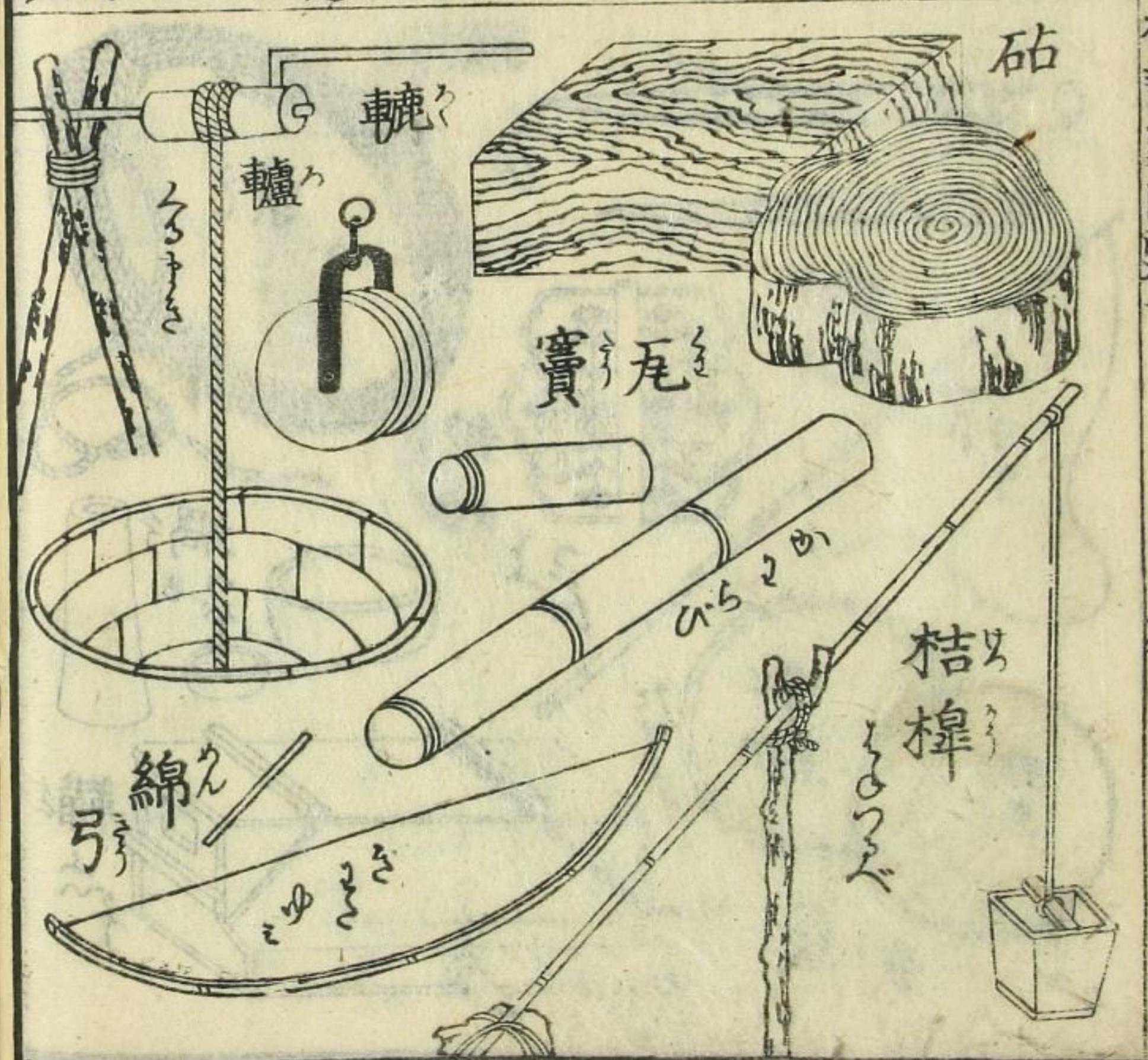
○鐵てつのの壁かべととゆるゆる具ぐありあり鈎かぎ
 朽く巧くわう同どうととててありあり
 ○鉤かぎのの鐵てつ槌つちありあり
 ○鉸かじのの火ひ鉗くわん火ひ鉗くわん同どう
 ○鑽くわんのの鐵てつ砧いしありあり鐵てつ錐すい鐵てつ錐すい
 同どうくくかかららいいととなりなりとと
 ○削けず刀たうのの小こ刀たうなりなり
 ○裁さい刀たう圖ずのの比ひのの力ちからなりなりととが
 たたかかららとと
 ○鑷くわんのの刀たう斧ふかかりり斧ふのの又またいい
 ろろももありあり
 ○斧ふのの神かみ農のう務むののつつままりりありあり
 本もと爪つめのの具ぐありあり柯かのの柄え
 ○釘ていののつつままりり物ものよりよりありあり
 ともともありありとと同どうくくののありあり
 ○楔くわのの木き釘ていかかりり又また梓すいのの字じ



○鉄束のあこまり鉄箱同
 ○竹束の桶の輪多り竹よ
 てつろぎ竹箱ともいふ
 ○砧あてかり拵同た
 に夜とろり具多りきり
 ともいふ
 ○拵棹いもつえ多り擦
 棹同
 ○轆轤の水とろりつるばか
 り具多りつるばきとろり獨
 さつに轆轤とろり物わり
 ○尾實あてかりつるばき
 かり陰溝むりえと暗溝
 とも書なる
 ○綿弓の本もとろりゆ
 かり弓に唐ゆと小弓わり
 ○奉鑽いろくろる錫ス角
 かりとろりおあり車鑽同
 ○旋盤の茶碗天目とつる
 ころはあり釣釣多り同
 すりのつろりのころま
 ○本挺てこかり鉄挺
 てこかり
 ○攪細の俗ふとろりいふ
 いふありかま川の小魚と
 とろりいふとろりなまてと
 もいふ
 ○硝の鯨鯨かたはつ物
 かりとろりいふとろり馬と
 とろりかたはつ硝といふ箕同
 一名魚又といふ
 ○絞車はすたろり大石の



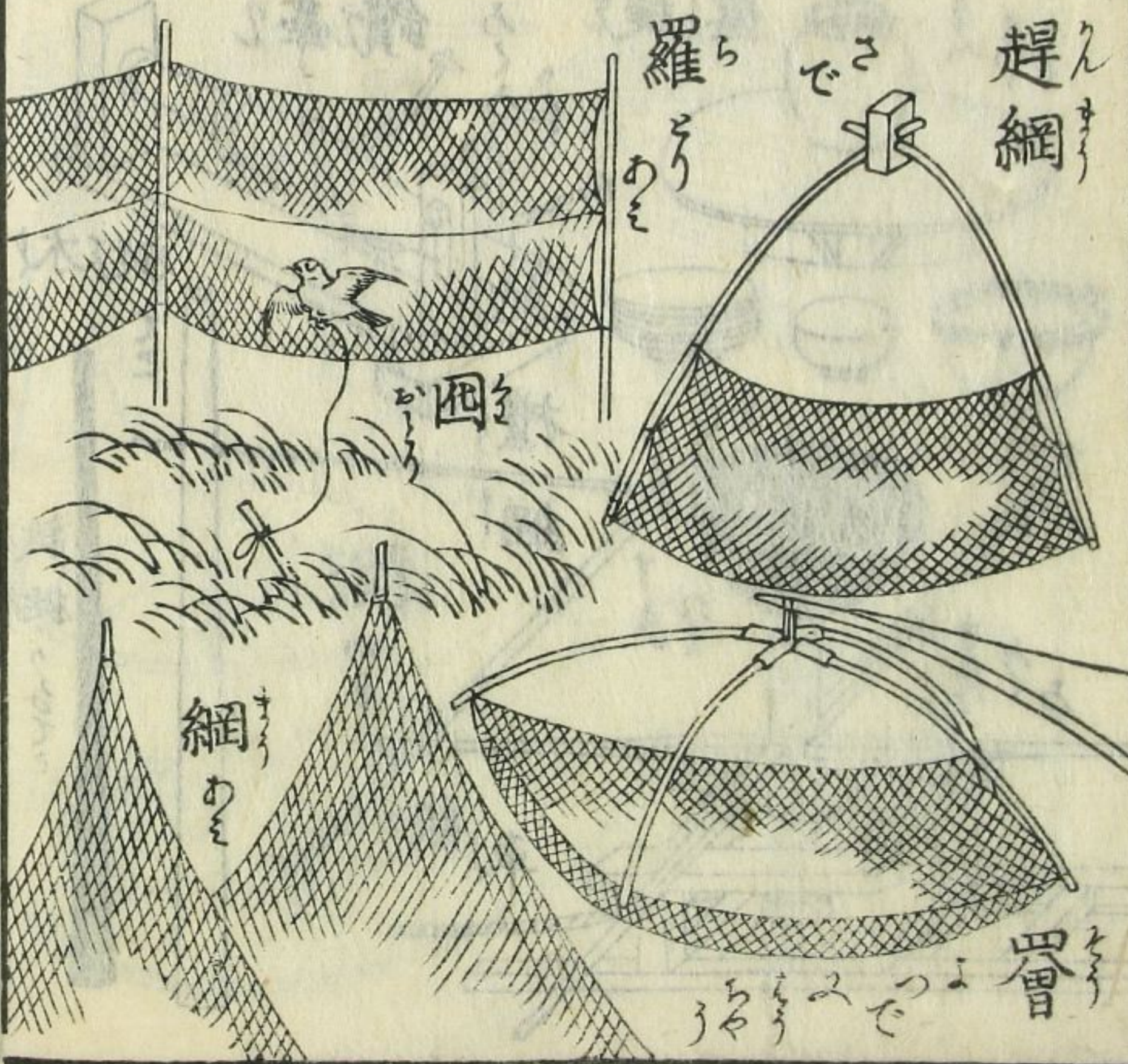
○鉄束のあこまり鉄箱同
 ○竹束の桶の輪多り竹よ
 てつろぎ竹箱ともいふ
 ○砧あてかり拵同た
 に夜とろり具多りきり
 ともいふ
 ○拵棹いもつえ多り擦
 棹同
 ○轆轤の水とろりつるばか
 り具多りつるばきとろり獨
 さつに轆轤とろり物わり
 ○尾實あてかりつるばき
 かり陰溝むりえと暗溝
 とも書なる
 ○綿弓の本もとろりゆ
 かり弓に唐ゆと小弓わり
 ○奉鑽いろくろる錫ス角
 かりとろりおあり車鑽同
 ○旋盤の茶碗天目とつる
 ころはあり釣釣多り同
 すりのつろりのころま
 ○本挺てこかり鉄挺
 てこかり
 ○攪細の俗ふとろりいふ
 いふありかま川の小魚と
 とろりいふとろりなまてと
 もいふ
 ○硝の鯨鯨かたはつ物
 かりとろりいふとろり馬と
 とろりかたはつ硝といふ箕同
 一名魚又といふ
 ○絞車はすたろり大石の



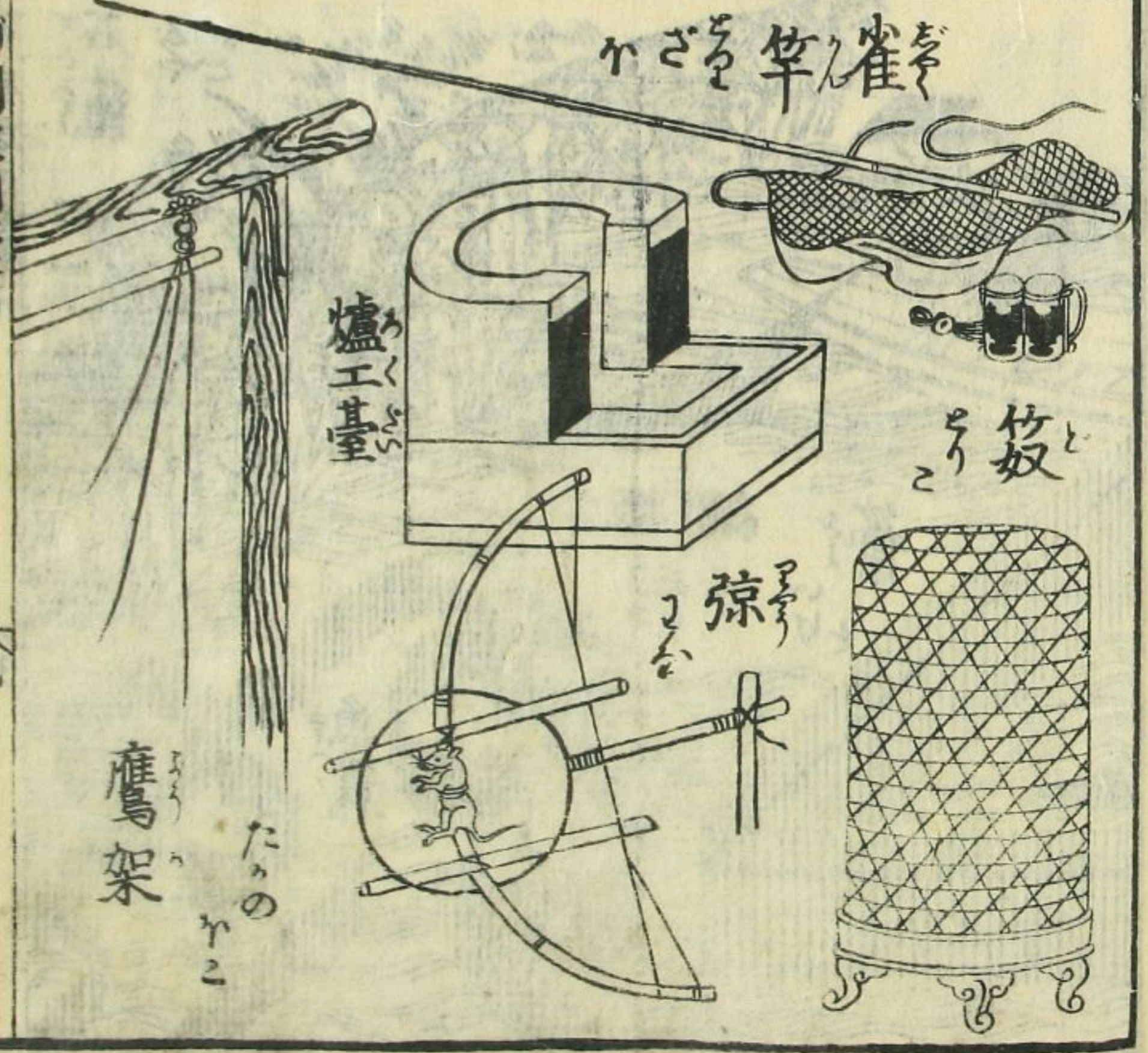
貞子書物補川...

貞子書物補川...

家藏堂やぐらひのうら
 ろあつ
 ○趕網 鷹網ともいふ魚と
 する具あり俗ふたのとも
 ○罾 罾といふ罾あり又
 方張といふ罾ありひのわ
 敷品あり此圖の四つとも
 わらわ
 ○網のわらわは唐揚氏の
 つらとて女の罾同
 俗ふらわらわらわら
 つら
 ○羅のわらわは唐揚氏
 たらわらわらわらわら
 絹糸又麻糸はくはる也
 かしこといふは又しらこ



○罾のわらわは唐揚氏
 つらとて女の罾同
 俗ふらわらわらわら
 つら
 ○羅のわらわは唐揚氏
 たらわらわらわらわら
 絹糸又麻糸はくはる也
 かしこといふは又しらこ
 ○雀竿の網竿同
 しきあり網のうら
 かり
 ○炊のうらひのうらあり庭籠
 丸籠をわらわ
 ○爐工臺の金仏のうら夫
 とくし臺あり俗ふら
 あり
 ○鷹架の鷹のうら
 あり
 ○涼の罾といふはひのわ
 肌危あり俗ふら



○ 石籠の水をせられたる

作ての... 中石と

入て堤の水と... の

即牛... 伝ふり

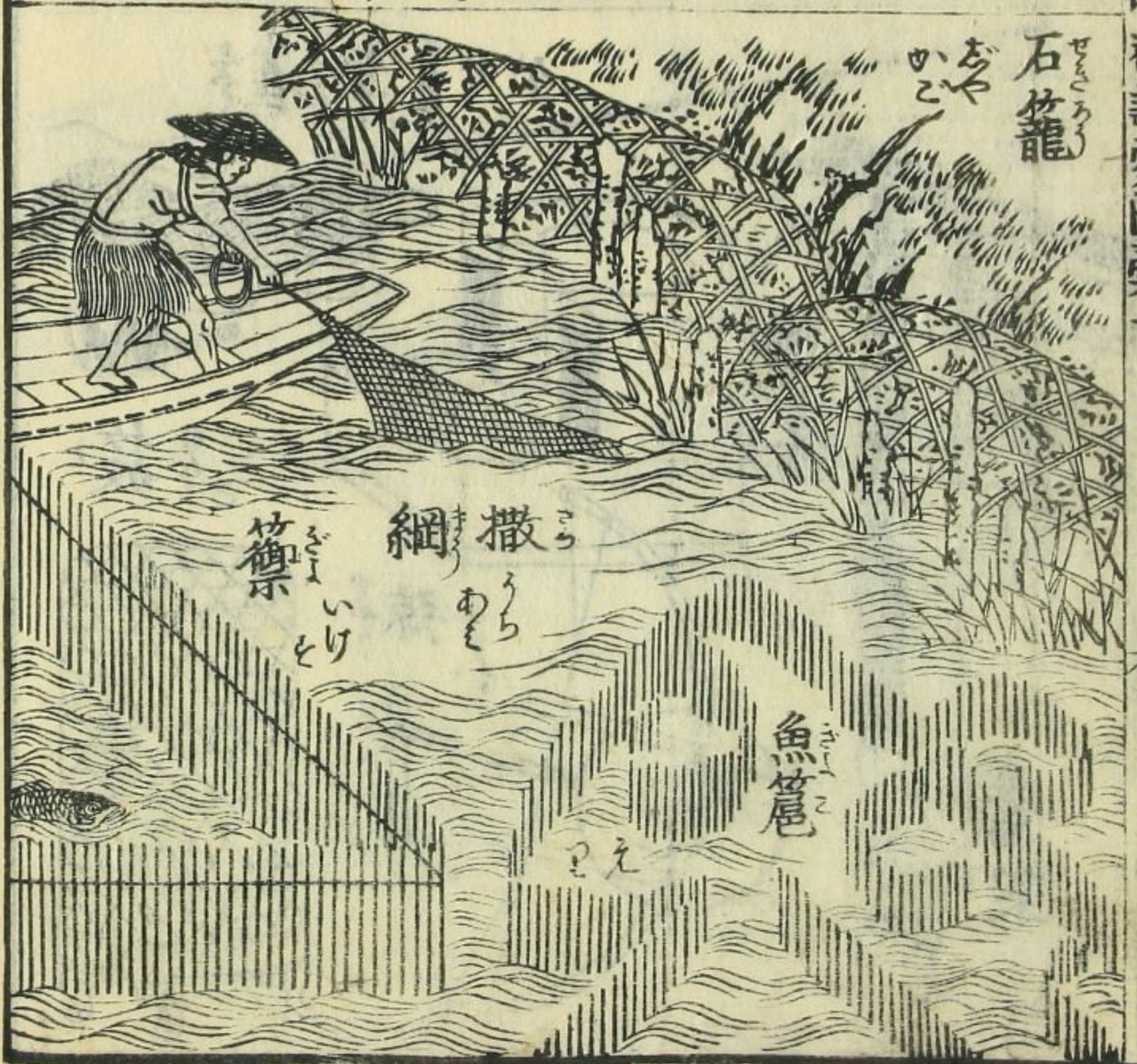
○ 撒網の魚と... の

○ 魚笠屋の海中ゆく魚と

魚笠消方と... け

○ 竹籠の池の... 川を

竹籠... 魚と



○ 翻車は龍骨車なり

田の... 水

○ 筒車は... 水

○ 水筒は... 水

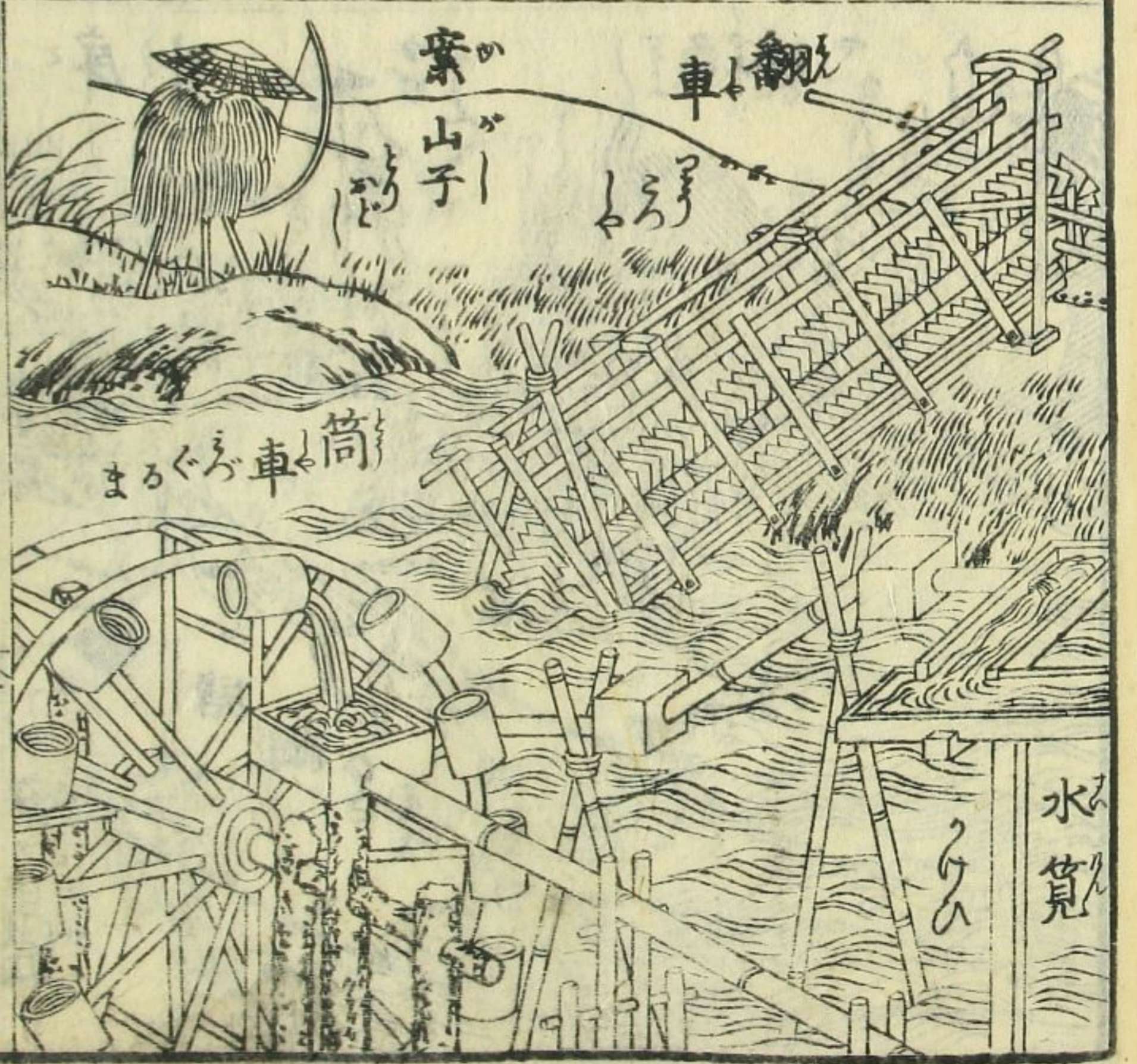
○ 紫山子... 水

○ 紫山子... 水

○ 紫山子... 水

○ 紫山子... 水

○ 紫山子... 水



○岸舟の桶は多くはついで田へ水を入るものあり是もいでりものたりしもの具あり岸桶同

○魚梁の海中に竹の篁とて魚とるものあり

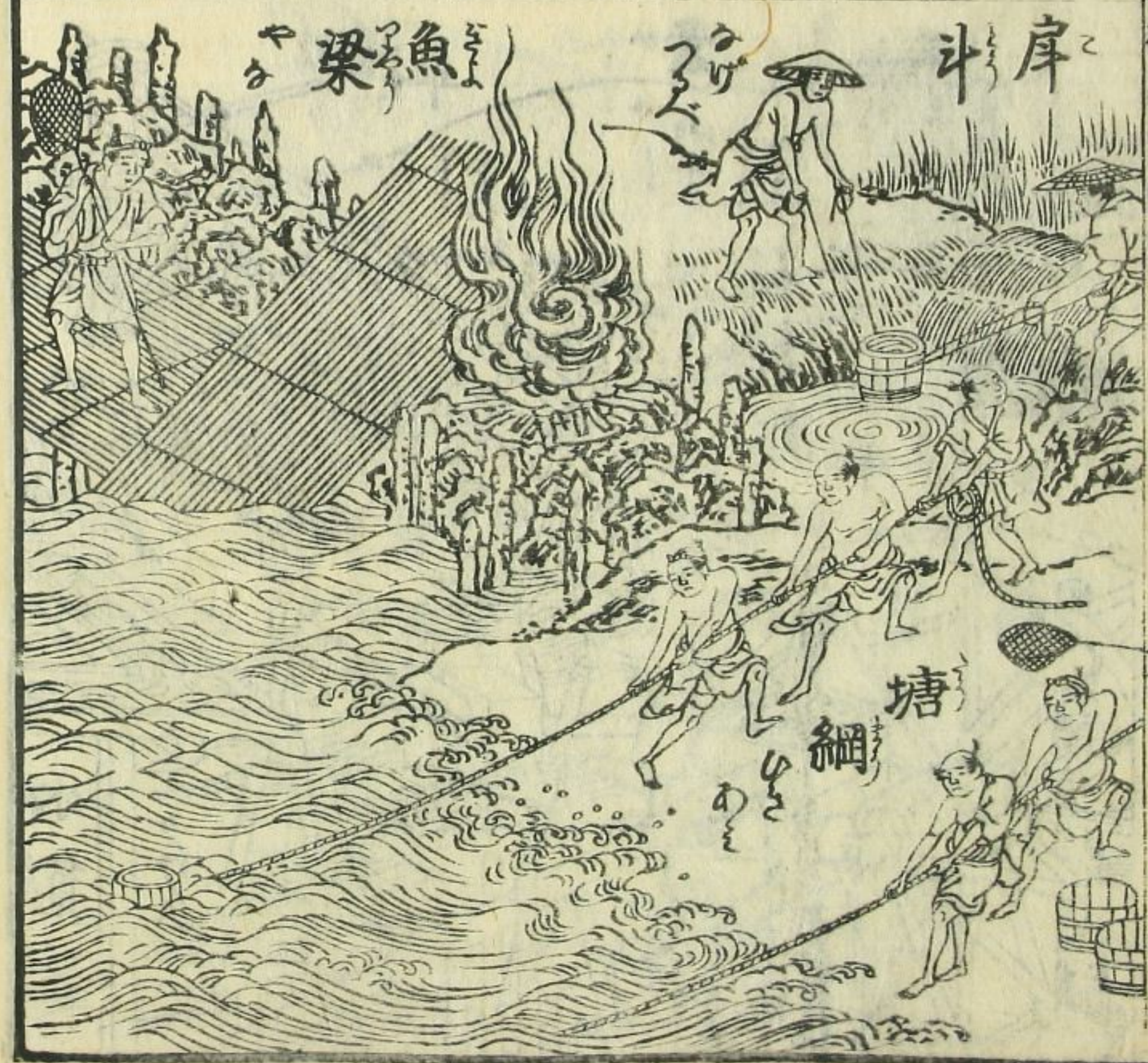
○留同俗に云ふものあり

○かんと笥同

○塘細引のわきとて大海にて魚とるものあり方里にうけの桶とついで大さの人力とるものあり

○楮柱家のゆきとるものありとついで岸桶の今

○損榦の両題と損とる



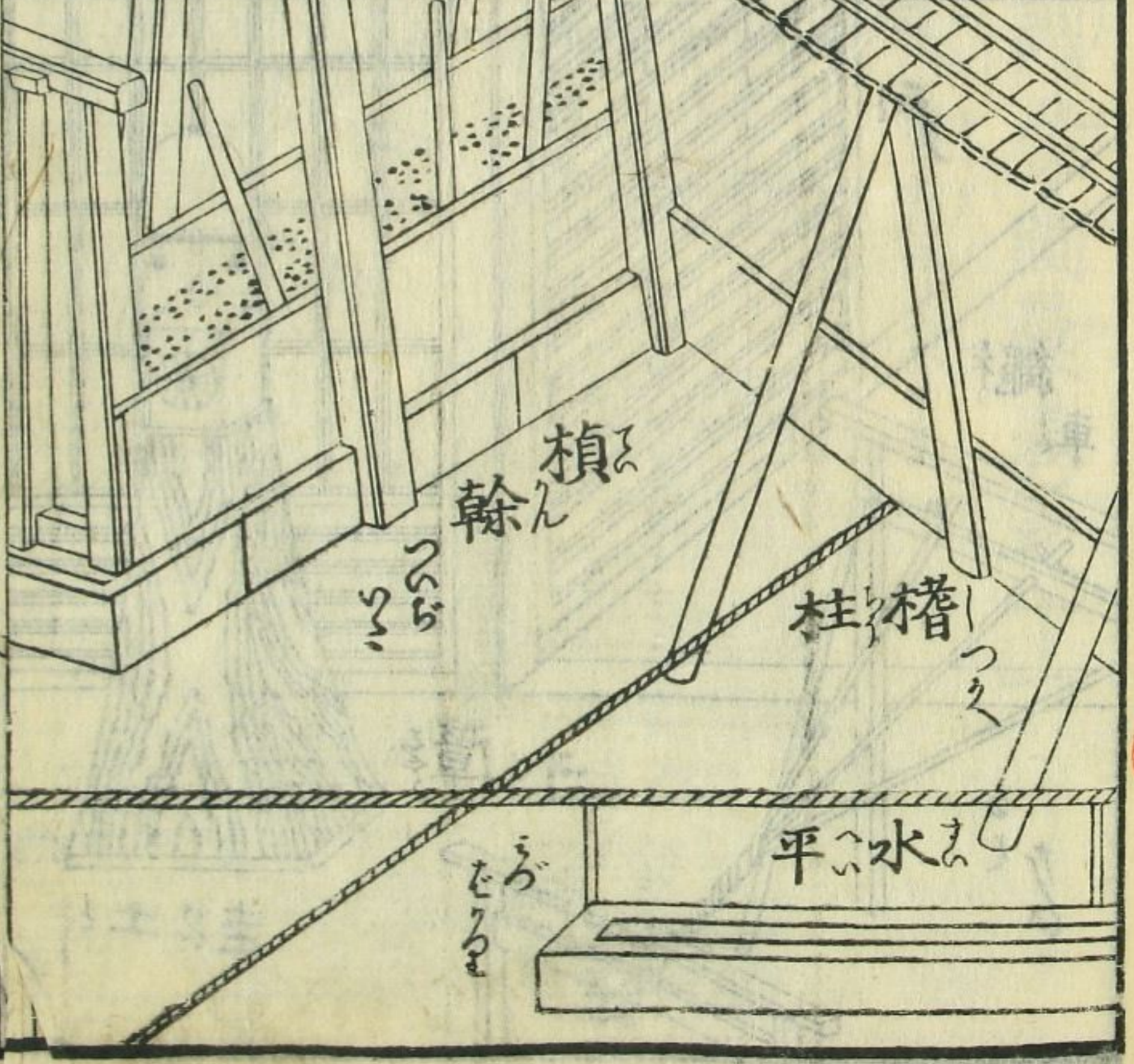
○水平の三つとるものありあかき瓜引とるものをとるものあり番匠よりとる具かな度竿同

○土圭の圖景とも時計書あり昼夜十二時ありとるものあり

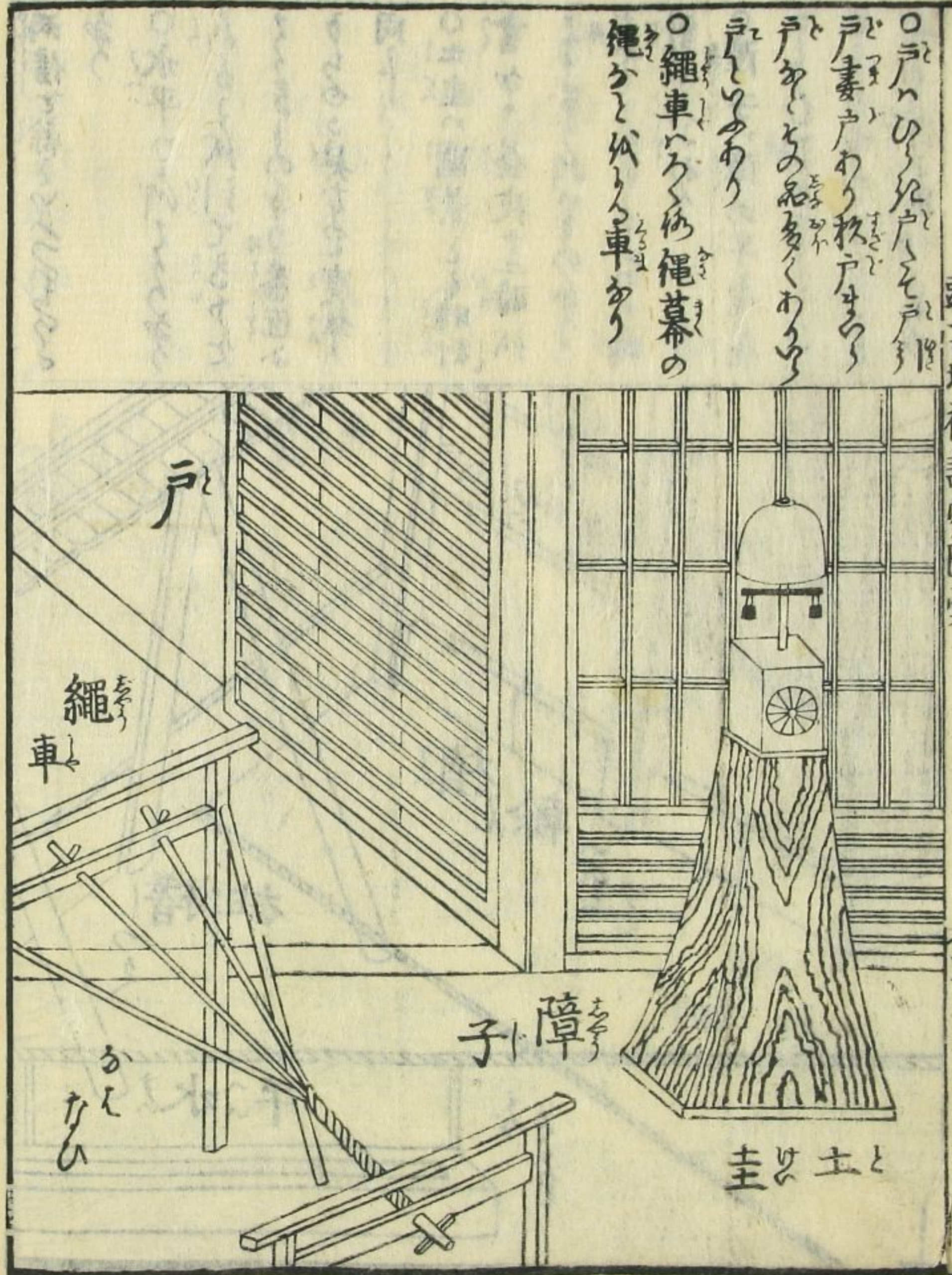
○計ふ大小あり

○障子の障の字をたてしむ風かなとるものあり

○のこらなつと子の舟とるものあり障子の腰障あり



○戸のゆるい戸を戸
と云ふ戸あり秋戸あり
戸ありとの名多くあり
戸ありあり
○繩車いろく繩幕の
繩かこゆる車あり



戸

繩車

障子

土圭

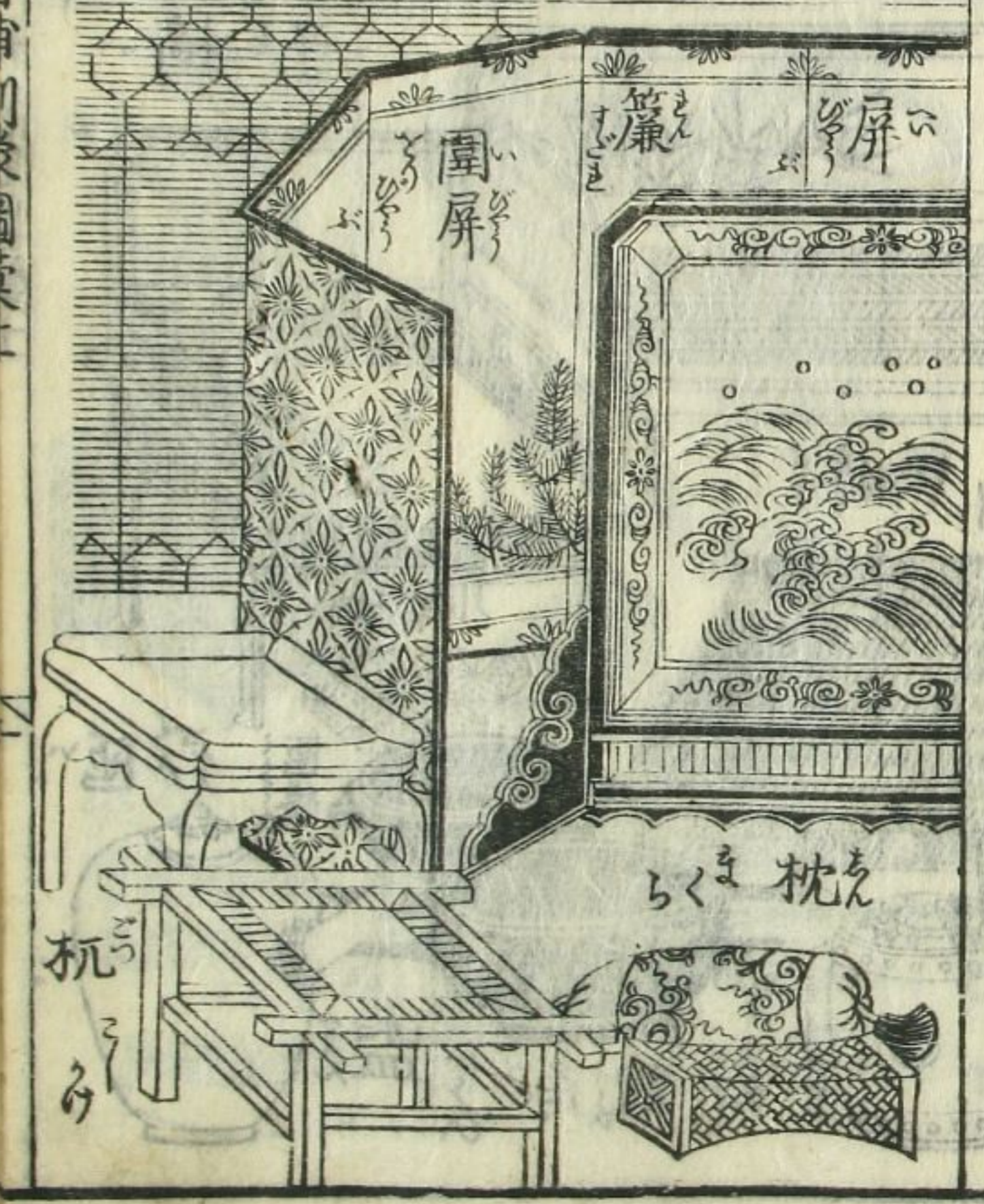
かん
たひ

頭書増補訓蒙圖彙卷之十一

器用

註前ふくふり

○屏風風なりと畫屏
繡屏金屏石屏硯屏
格子屏わり又圍屏と云
○簾いとこれ箔同翠
簾みとまり簾鈎つる
もろあり
○枕珊瑚の枕瑪瑙乃
枕かとも貉枕や
○杭子いろくけあり
○椅子の方椅子圓椅
あり交椅子あり踏あり



圍屏

枕

杭子

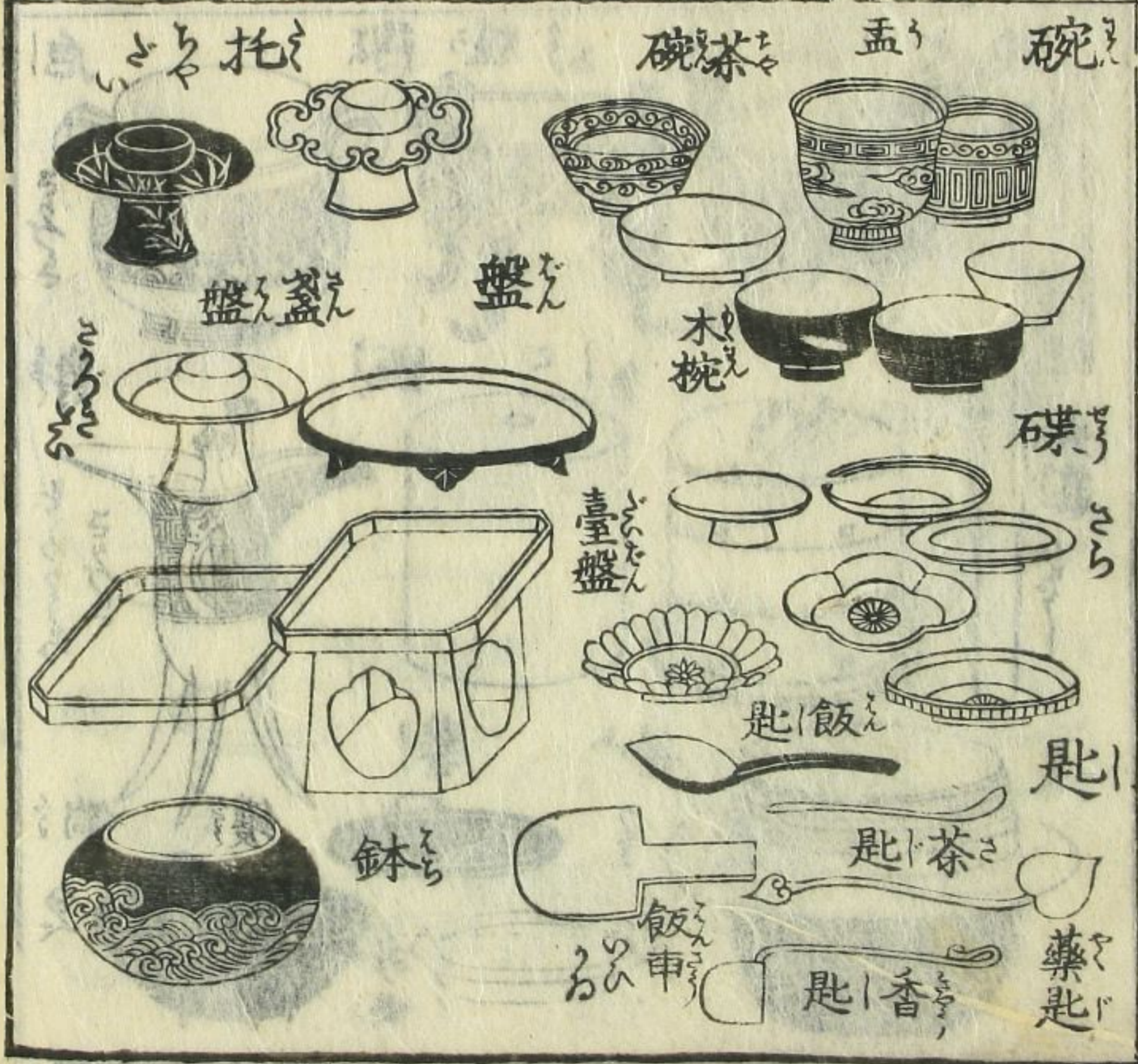
○櫛の酒瓶のつらつらあり
 雲雷のめくらとあぐら
 ○注子のあぐら湯盥湯
 釜小湯のあぐらと水と
 うたふ具あり
 ○瓶の酒瓶のつらつらあり
 尾樽あり陶樽あり榎同
 ○瓶のあぐら水瓶酒瓶
 尿瓶あり餅同
 ○樽の酒瓶のつらつらあり
 方ろ本樽あり漆樽あり
 ○壺の酒とつらつらあり
 又陶もつらつらあり
 ○鬚の髪とつらつらあり
 鬚の髪とつらつらあり
 ○櫛の髪とつらつらあり
 櫛の髪とつらつらあり



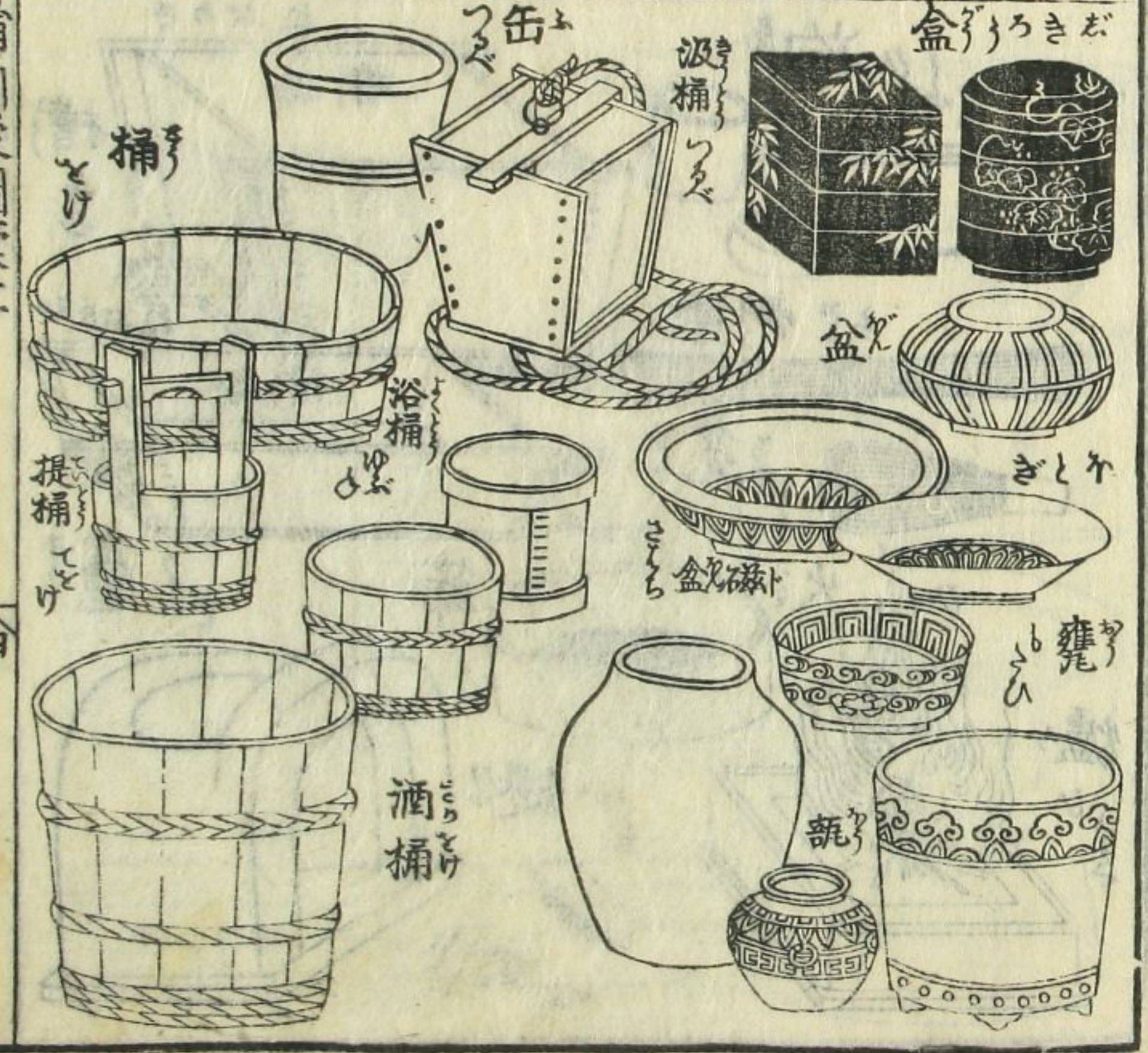
○盃の盃とつらつらあり
 醜も書一又鷓鴣盃
 椰子盃瑪瑙盃あり
 ○琖の猪口も書あり
 ○厄のさくらんぼあり玉厄と
 つらつら同
 ○爵のさくらんぼあり爵の
 淫乱ありのあり酒と
 のり淫乱ありありあり
 さくらんぼ小爵とつらつら
 ていすめとつらつら
 ○鼎のさくらんぼあり香
 炉のさくらんぼあり
 ○鼎の香炉とつらつらあり



〇鼎のわいゆ多あり五
 味と煮和をうらひの
 かんと方鼎あり漆鼎あり
 〇甌の物瓜むとくきと
 磁甌同筆こききのすれ
 炊巾ありねぬのあり
 〇鍋大ありまぐと鑊とく
 わさたきと釜とくさ砂
 鍋のりりりり
 〇金ありまあり鑄銀の
 らびふ同ト瓦金のほら
 がはあり
 〇筋箸櫛ありびは食
 筋たるをくあり
 火筋の火あり

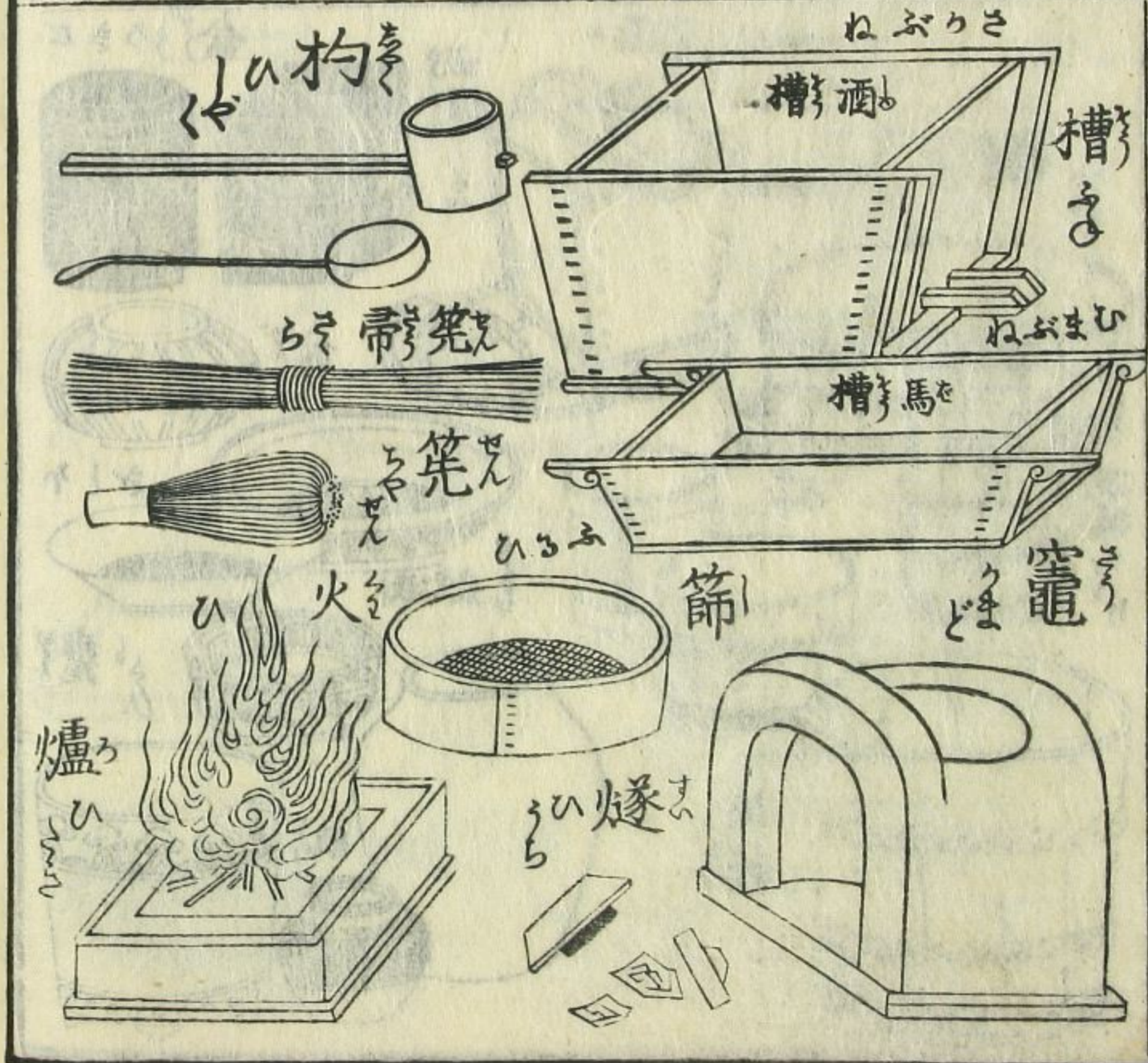


〇碗の食碗茶碗あり木
 椀磁椀あり火多と土と
 り深と甌あり今く天
 同建蓋あり
 〇碟の土の皿と磁碟といふ
 の皿と漆椀といふ碟の皿
 又木さき椀子
 〇香匙の香とくひ
 〇飯匙の律僧禪家に
 用ありのあり飯とく
 ひらふあり
 〇茶匙の茶抄あり
 〇藥匙の医家小用あり
 茶匙あり
 〇飯申の今くありのありと
 撥同一

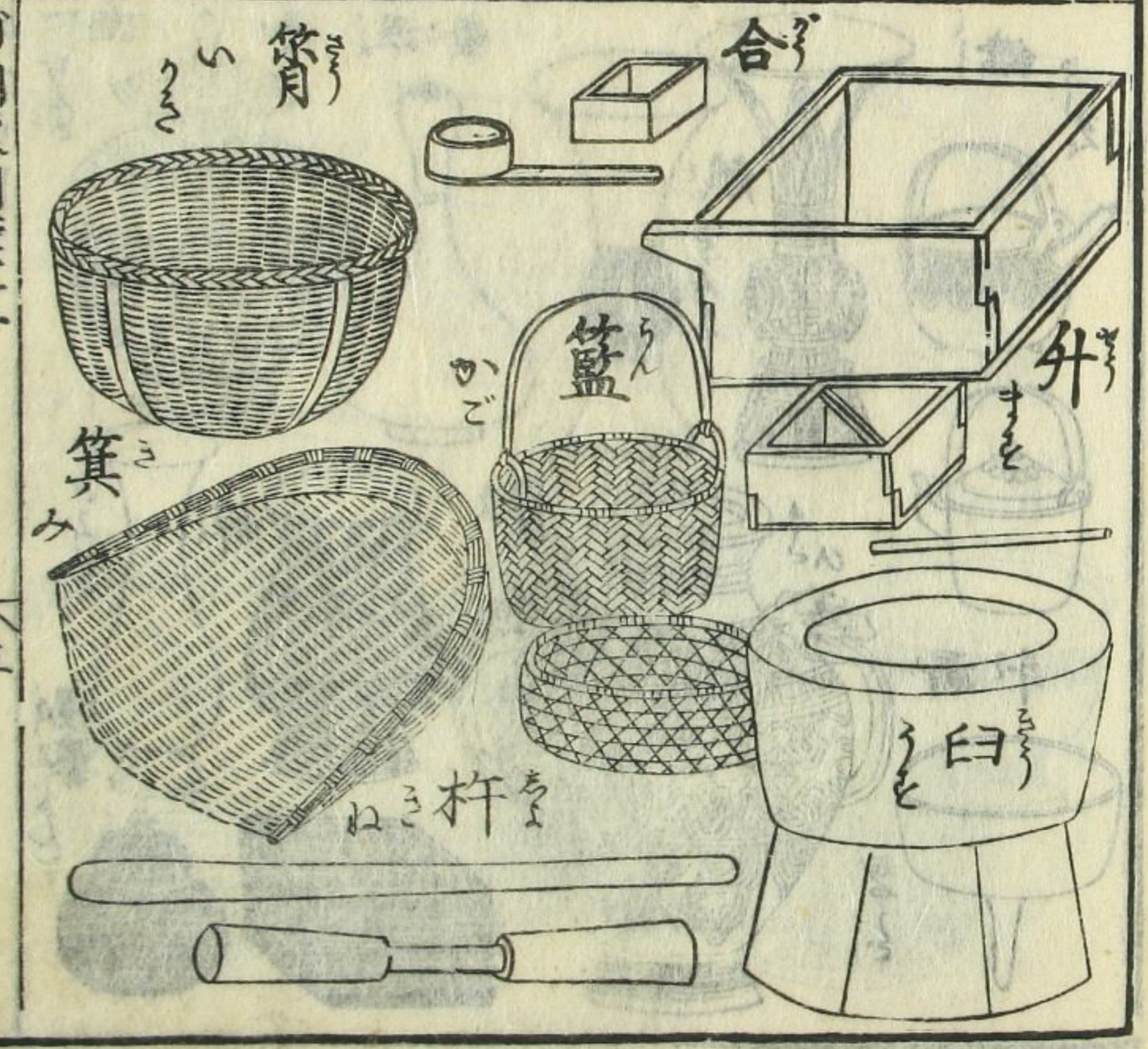


類書曾補川家圖集上
 四

○盤ばんはすべて物の臺たいなり
 圓まるなるは盤ばんといふまゝと
 とも方かたなるはも通とおじ
 盤ばんといふ事こともあり
 ○臺盤たいばんは今の小三方せうさんぱうあり
 ○托たくは茶碗ちawan天目てんめの臺たい也托たく子こ
 托盤たくばん並なら同どう又また臺たいにつる
 ○鉢はちは佛ぶつ氏の盃さかずきなり鉄てつ
 鉢はちなり銅鉢どうはちなり木鉢もくはちなり
 佛ぶつのしらの鉢はち鉄鉢てつはちなり
 ○盃盤さかずきばんはさうきの臺たいなり
 ○盒はちは合あ子こなり今の食くわ籠ろう
 かりは圓まるなる器きなり今の方に
 もとるなり
 ○盆ぼんはすゝたうりの名な
 盆ぼん同どう磁じ盆ぼんはさうなり



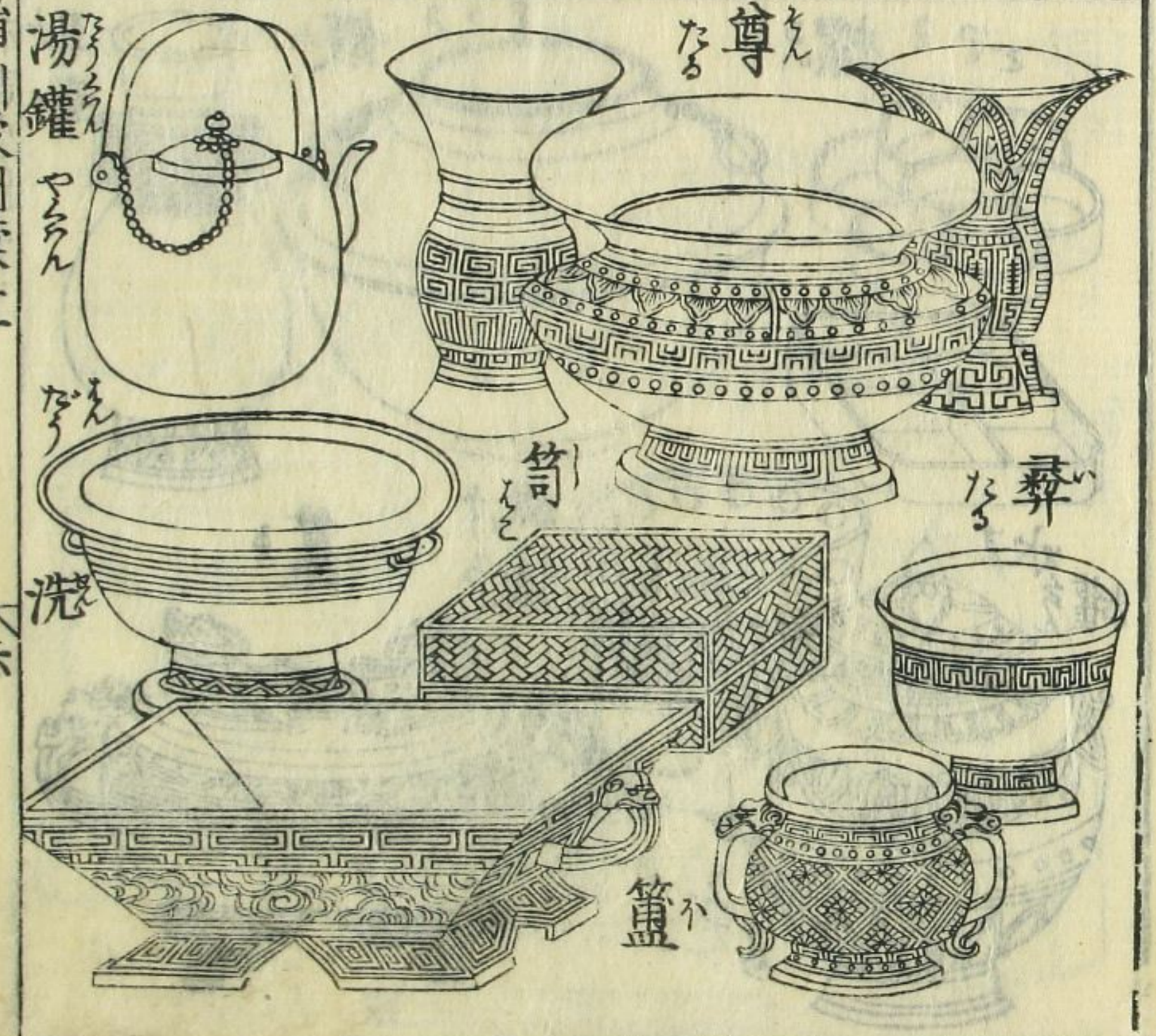
○甕かめはる甕かめ瓮かめ鐵てつ鉢はち
 共とも小せう大だいなるは甕かめといひ小せうなるは
 甕かめといふ酒しゆへ入いるなり
 ○桶かはけり提あ桶かなり
 浴桶よくかはゆゆの打う同どう
 ○酒桶しゆかは五ご石せき入いるなり
 口くちとてしてさうなり
 ○缶かはつるたうりもあつる
 水みづとていものなり縛むすつるなり
 縋むす汲くみ素すはひ小せう同どう
 ○汲桶くみかはふくし作りさうなり
 ○酒槽しゆざうはさうなりこの槽ざう
 酒しゆ袋ふくろと入いるなり桶かもさうなり
 ○馬槽ばざうはひしり糸いとなり馬うま乃なり
 四足しそくなるなり槽ざう櫃びと
 ひまなるなり



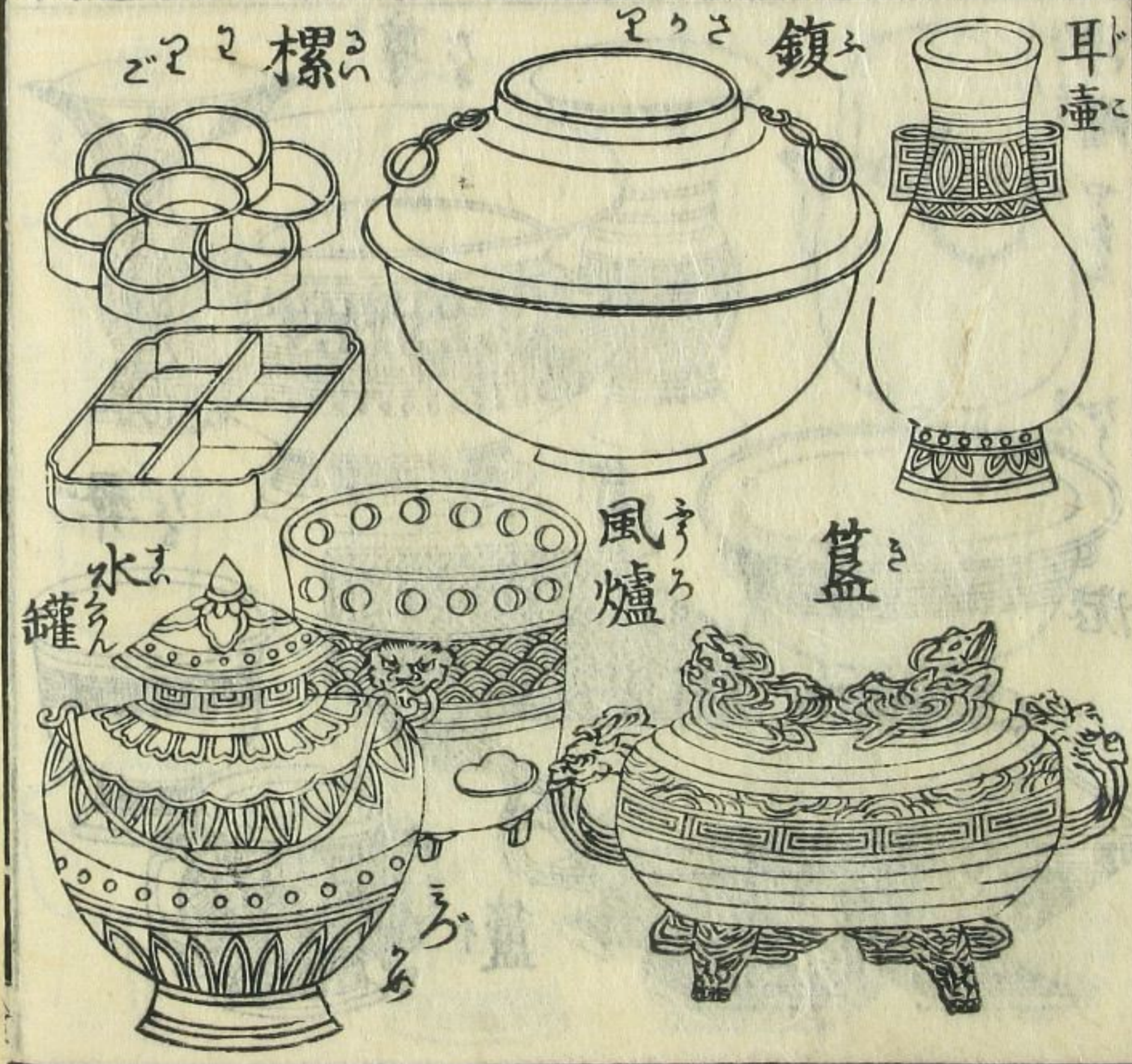
○杓の水とくむの勺瓢多
 びふ同俗ふひやくとく
 ○笥の茶と泡とろの多
 悪茶と茶笥にてつろ
 と蟹眼とつ
 ○竈の火とく多り灶同行
 竈のく多り灶同
 ○節の筵と同一又籠と書
 へーふふひあり
 ○燧の本とく石火とて
 火とく多り火鑽同
 ○爐のひとく多り火函火鉢
 かへふ同地かへとびつ俗
 につろ地炕同焙炉火撻
 ○火の煨糖とくひふとて
 燻りふひ焰炎とくびに



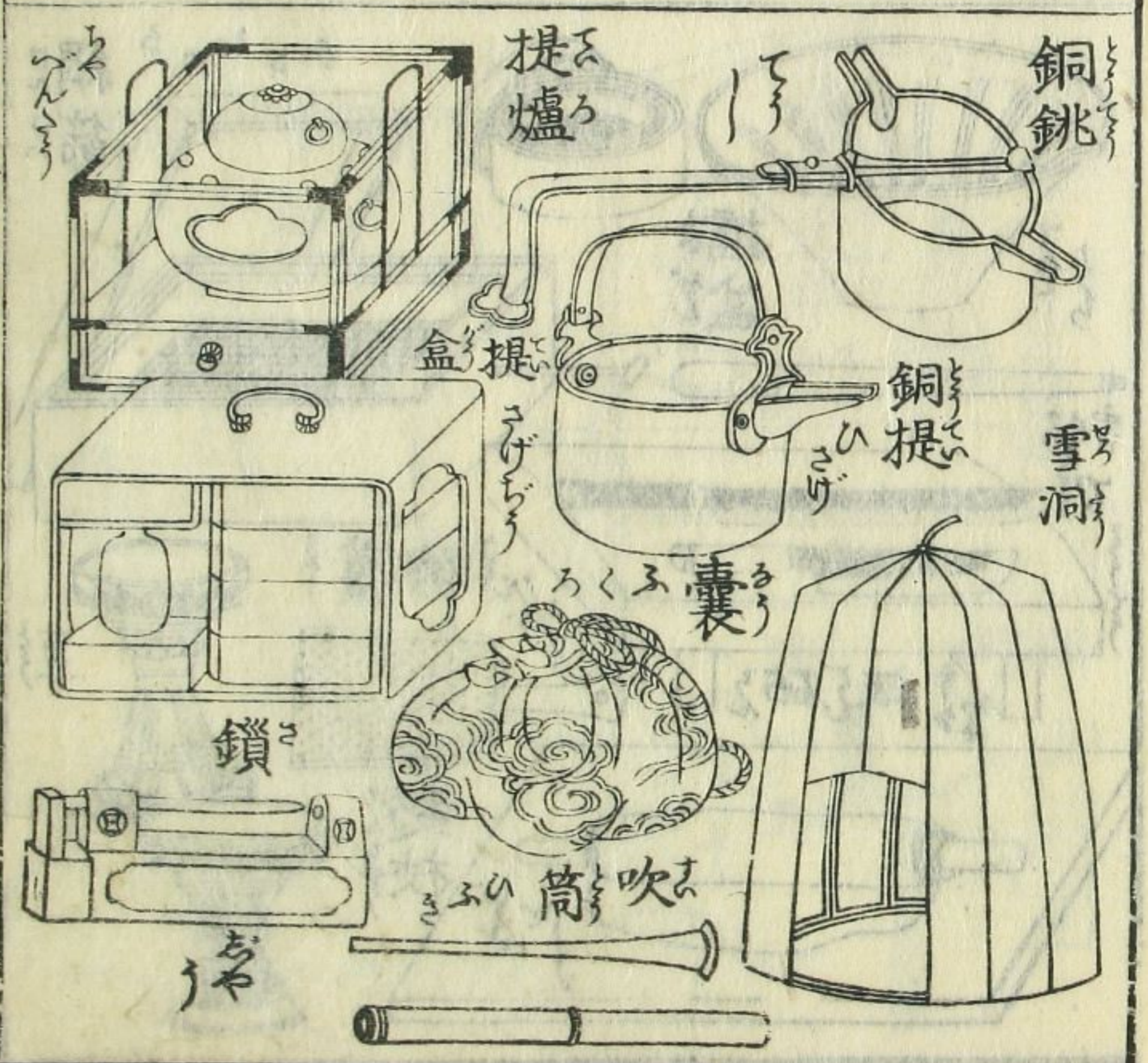
かの火灰とく煙けり燧と
 ○升の升とく水とく
 十命と合とく十合と升
 とく十升と水と十斗と斛
 とく既のたともす
 きとも又中格と書
 ○笥の月行器とく俗の
 いふと積算算淘羅羅
 ○筥の竹器とく筥とく
 筥同の
 ○箕の物とく簸の多
 ○臼のつとく
 ○杵のつとく味増
 餅とつ杵とく細腰杵
 ○唾壺の痰とく多り今接



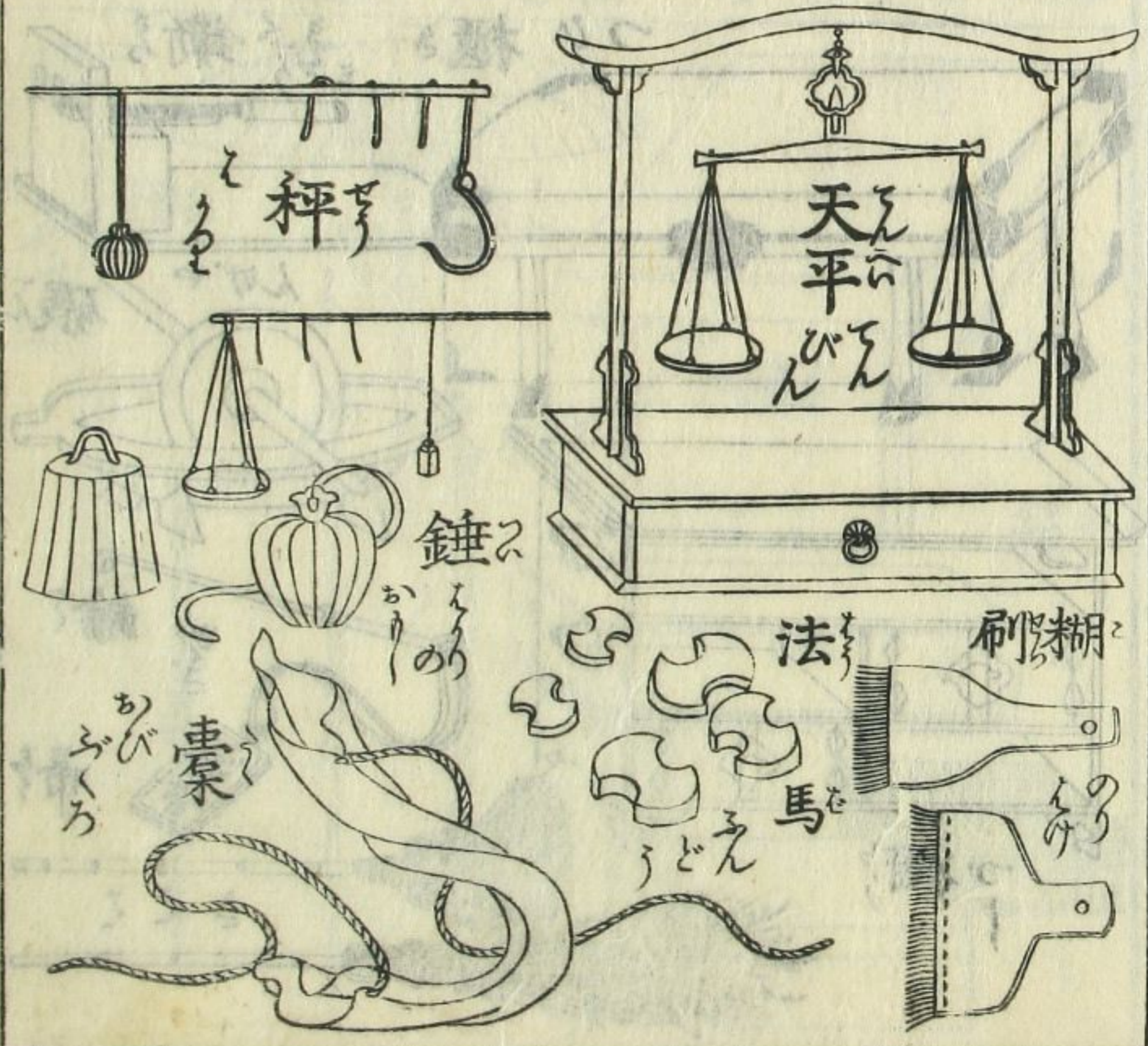
〇温壺のゆゑ湯と入て
 足とあてむらりのあり今
 花瓶ふゆら白
 〇鞆のゆゑのさぶさあり
 今花瓶ふゆら白
 〇觚のゆゑのさぶさあり
 唐音にこもぬさろふとま
 今花瓶ふゆら白
 〇壘のゆゑのさぶさあり酒と入る
 ものあり雲雷のゆゑのさぶ
 ぬぐくゆ壘とゆふ
 〇鐺のゆゑのさぶさあり耳足
 酒鐺は樂鐺をあり
 〇湯波のゆゑのさぶさあり桐銅



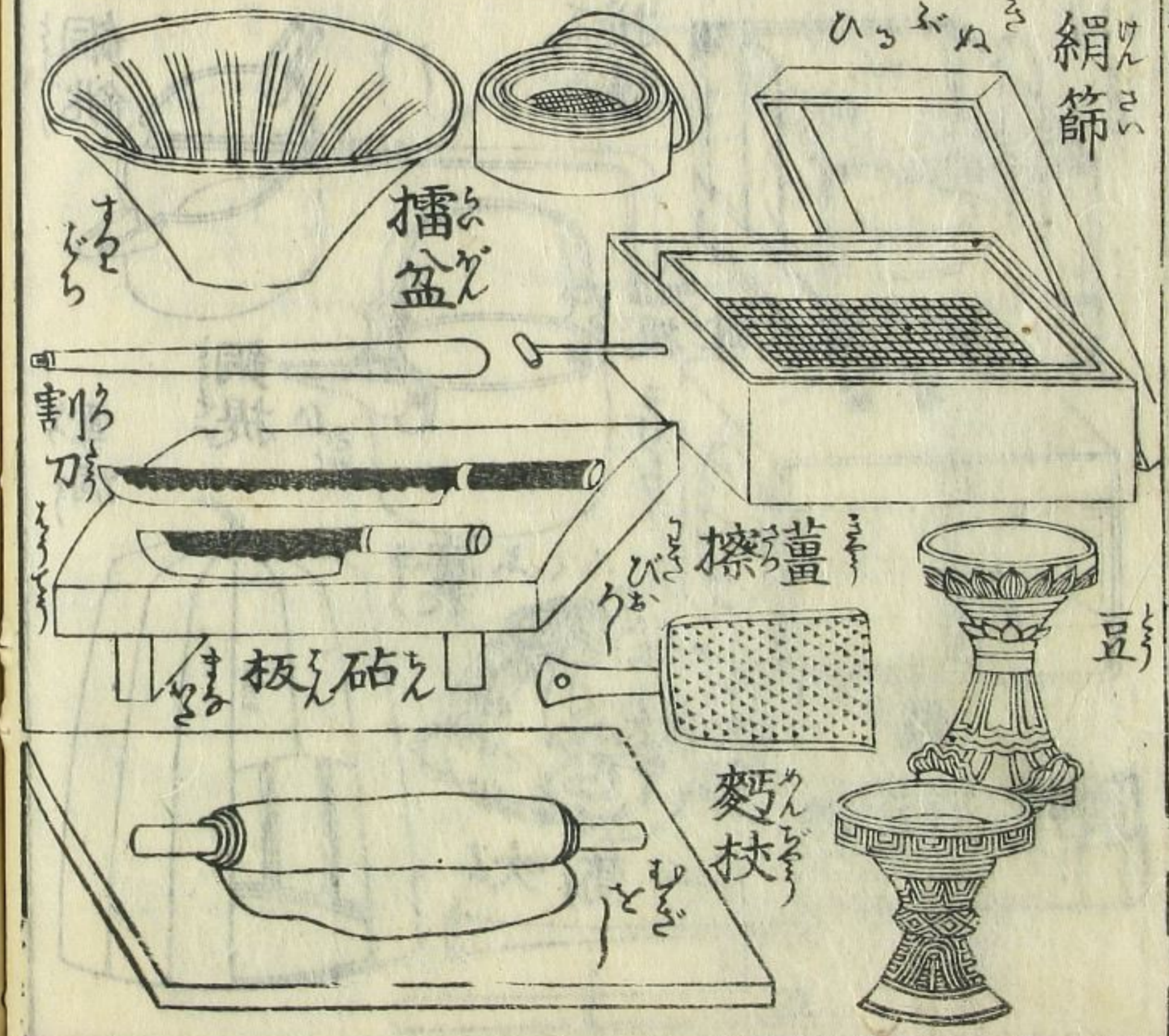
〇陶器のゆゑ作り湯と入て足
 とあてむらりのあり脚波湯媪
 〇漏斗のゆゑのさぶさあり酒と
 入るものあり
 〇尊のゆゑのさぶさあり酒と入る
 かりと今花瓶ふゆら白
 〇彝のゆゑのさぶさあり酒と入る
 香
 〇竈のゆゑのさぶさあり通称あり
 〇冪のゆゑのさぶさあり衣類と入る
 〇洗古のゆゑのさぶさあり洗のゆゑ
 の器と俗にこれを飯銅といふ
 〇篋のゆゑのさぶさあり茶のゆゑの
 あり茶提とゆふものあり
 〇湯罐のゆゑのさぶさあり湯と入る



○銅銚銅の銚今今の銚子あり
 酒酒とくハゆさりのあり
 ○銅提銅の提今今の提子也
 酒酒とくハゆさりのあり
 ○提爐提の爐今今の茶弁當
 あり又携爐携の爐も有り
 ○提盒提の盒今今の提重あり
 又行厨行の厨も有り
 ○雪洞雪の洞今今の雪茶
 炉炉とあり今今のあり竹小
 紙紙とあり今今のあり
 ○囊囊の袋袋今今のあり同
 ○吹筒吹の筒今今のあり杖杖火
 管管とあり今今のあり
 ○鎖鎖の音音味味詳詳ひつと鎖



○銅銅の銚銚今今の銅銅銚銚とあり
 酒酒とあり今今の花花瓶瓶とあり
 ○鏡鏡今今の鏡鏡とあり
 ○籠籠の籠籠今今の祭祭器器也
 食物食物ハ入入て先祖先祖とあり
 まつりものあり
 ○標標の食物食物とありおかし
 今今のあり
 ○風爐風の爐今今の茶茶炉炉茶茶炉炉も
 同同又金金槽槽とあり書書べし塗
 師師のふりふりの陰陰室室
 ○水罐水の罐今今の水水とあり
 罐罐とあり



貝貝書書音音味味詳詳ひつと鎖鎖

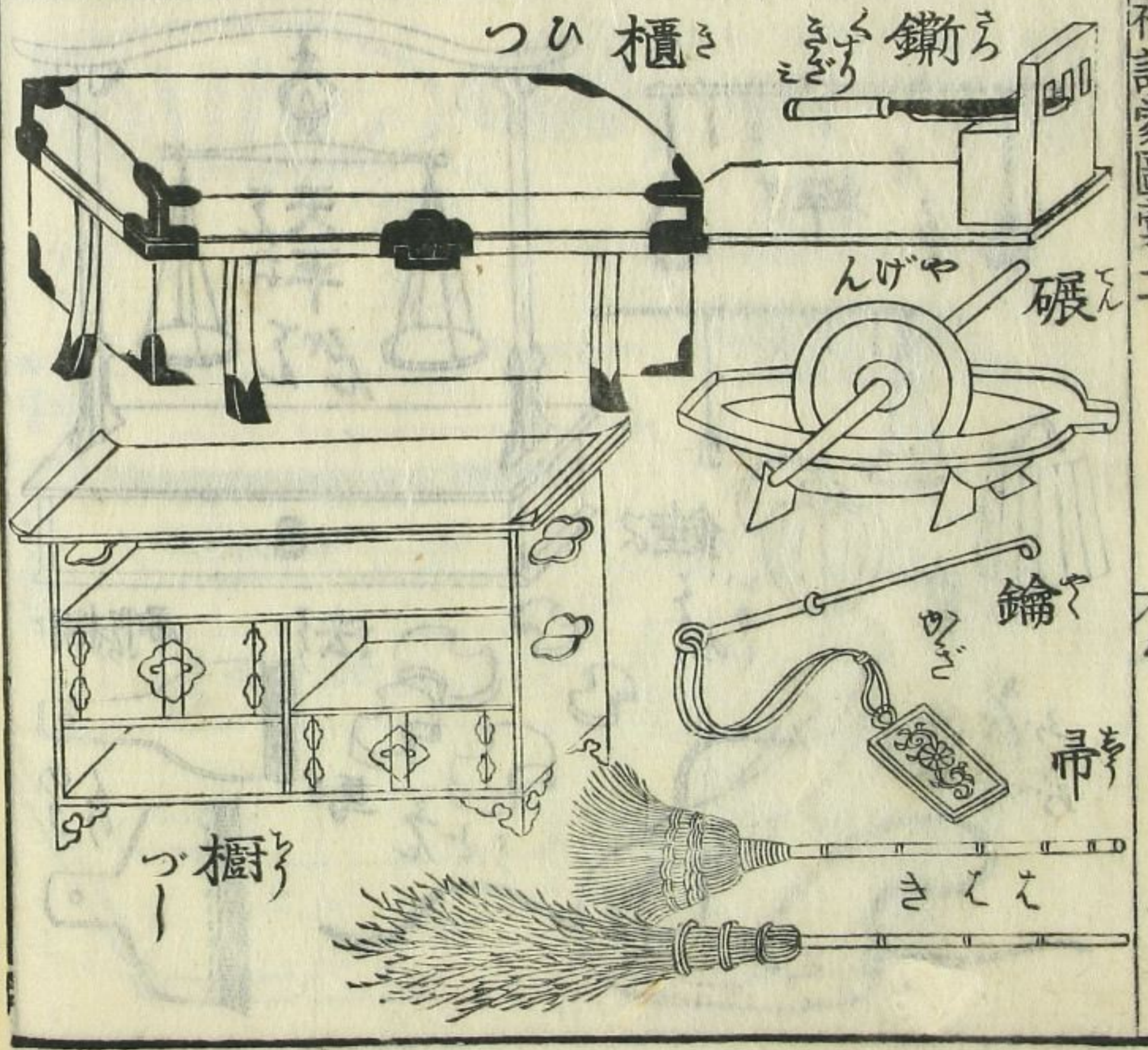
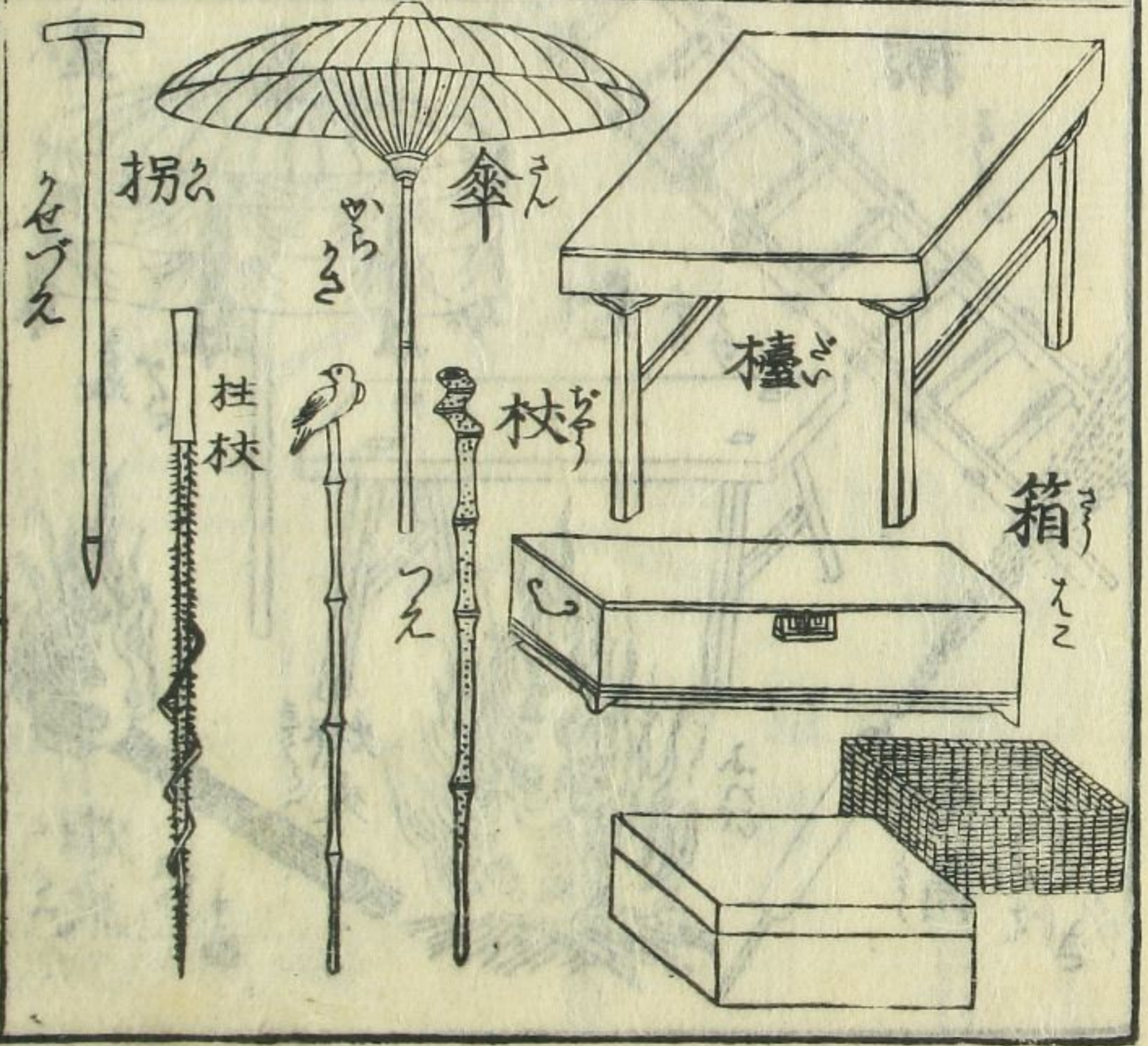
管とつとととと鎖須と云
○絹篩はきぬのこしあり
今按ととと小薬とととと
羅合ととと麩粉とととと
羅ととと

○播盆はとりむらありかと
雷のこしとととて播盆と云
播木播槌はとりふすうととと
○豆の糸に肉とのとととの
かり佛氏ふの菓子とのと
○薑擦はとととびとととと
○砧板は今のふすまかとのと
又柵几とも書べし肉机
魚盤多くは小同

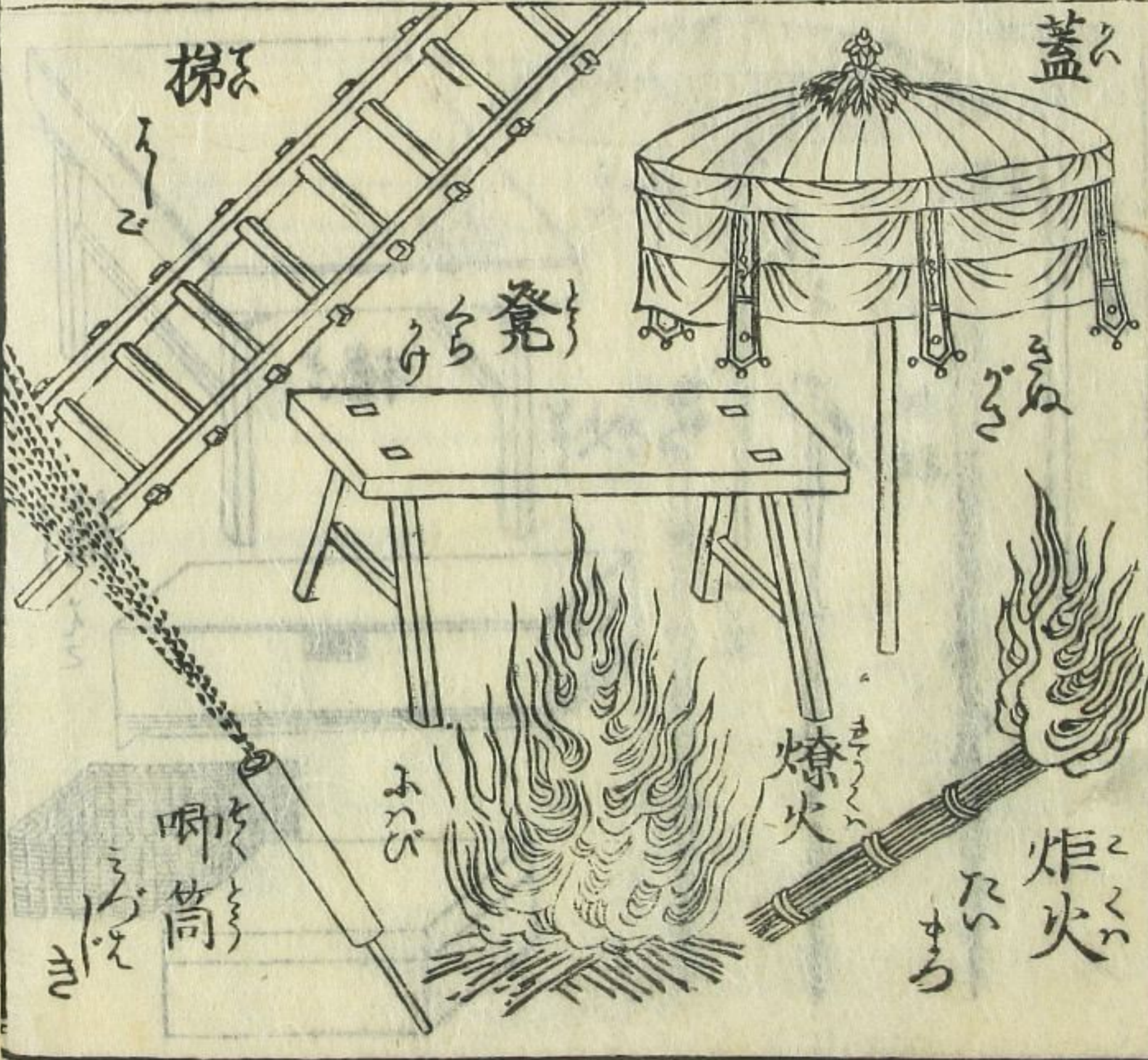
○割刀は今の庖丁なり魚
ととと力かり茶刀はととと

○麩杖は今の麩棒なり
一ふ軒麩杖ともいふ
○天平は今のふすまの台なり
平の秤の字は略ありとと
たつととと秤なり
○法馬は今の分銅カを
法子錡馬ともいふ
○秤は釐等なりととと瓜
盤ととととと衡とととと
つ瓜權とも錡ともいふ
和秤はらきあり
○錘はとととのありなり錘
權はととと同衡はとととの
ととと梁同
○糊刷はのりをけり
○裏の底はとととあり

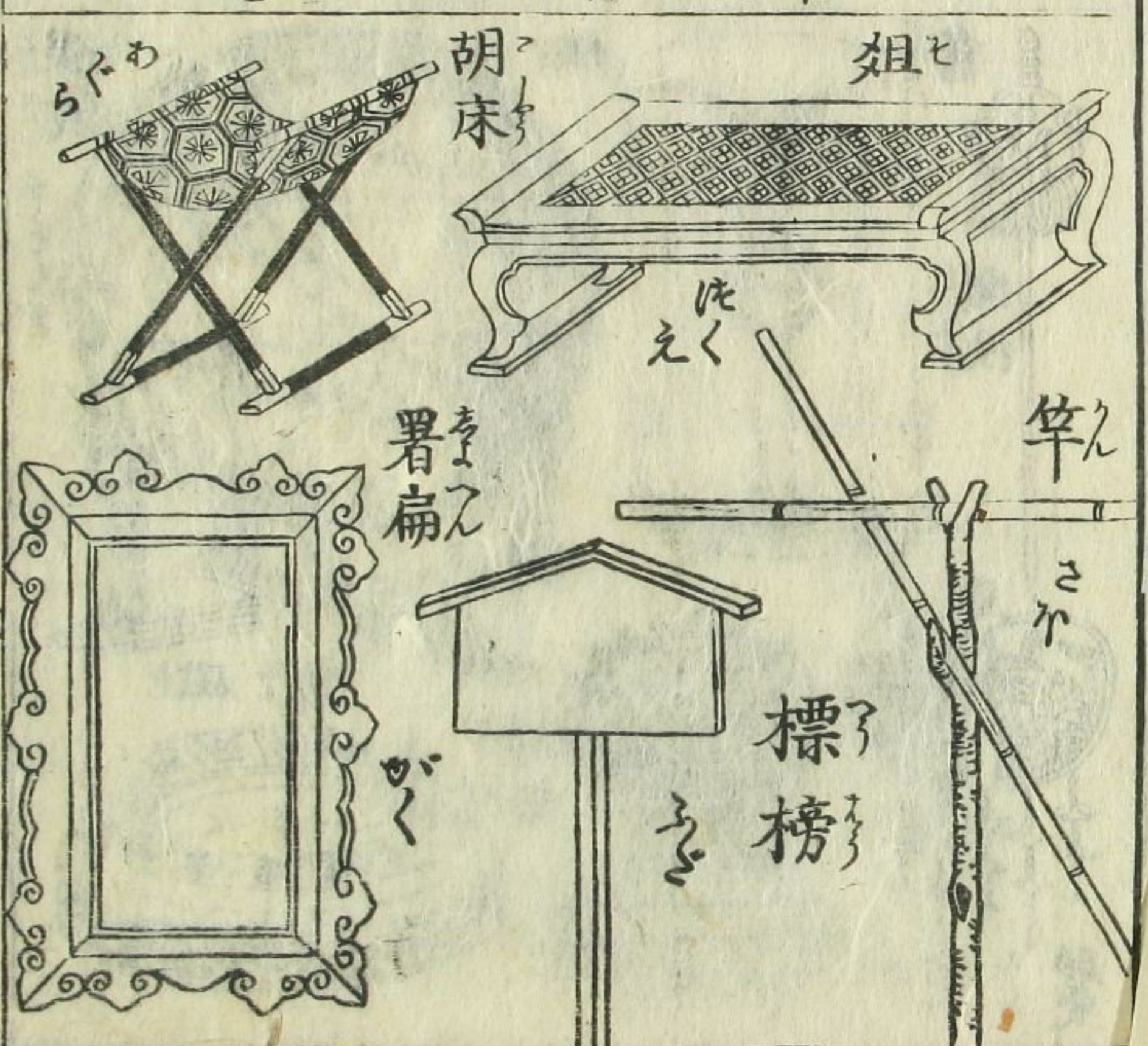
○麩杖は今の麩棒なり
一ふ軒麩杖ともいふ
○天平は今のふすまの台なり
平の秤の字は略ありとと
たつととと秤なり
○法馬は今の分銅カを
法子錡馬ともいふ
○秤は釐等なりととと瓜
盤ととととと衡とととと
つ瓜權とも錡ともいふ
和秤はらきあり
○錘はとととのありなり錘
權はととと同衡はとととの
ととと梁同
○糊刷はのりをけり
○裏の底はとととあり



〇 櫛の葉刀ありし草と
 るる具あり今なきもの
 みふりちり
 〇 碾の農具あり今なき
 と粉ふする具ありて
 碾とも茶研ともいふ
 〇 櫃のつかり書物衣服と
 入るものあり唐櫃半櫃長
 櫃あり
 〇 櫛の厨子あり書厨あり
 又夜厨といふもあり
 〇 鑰の鍵鑑やひ小通ト
 りらもあきあり
 〇 帚の帚同條帚あり
 るる掃帚たけをた獨

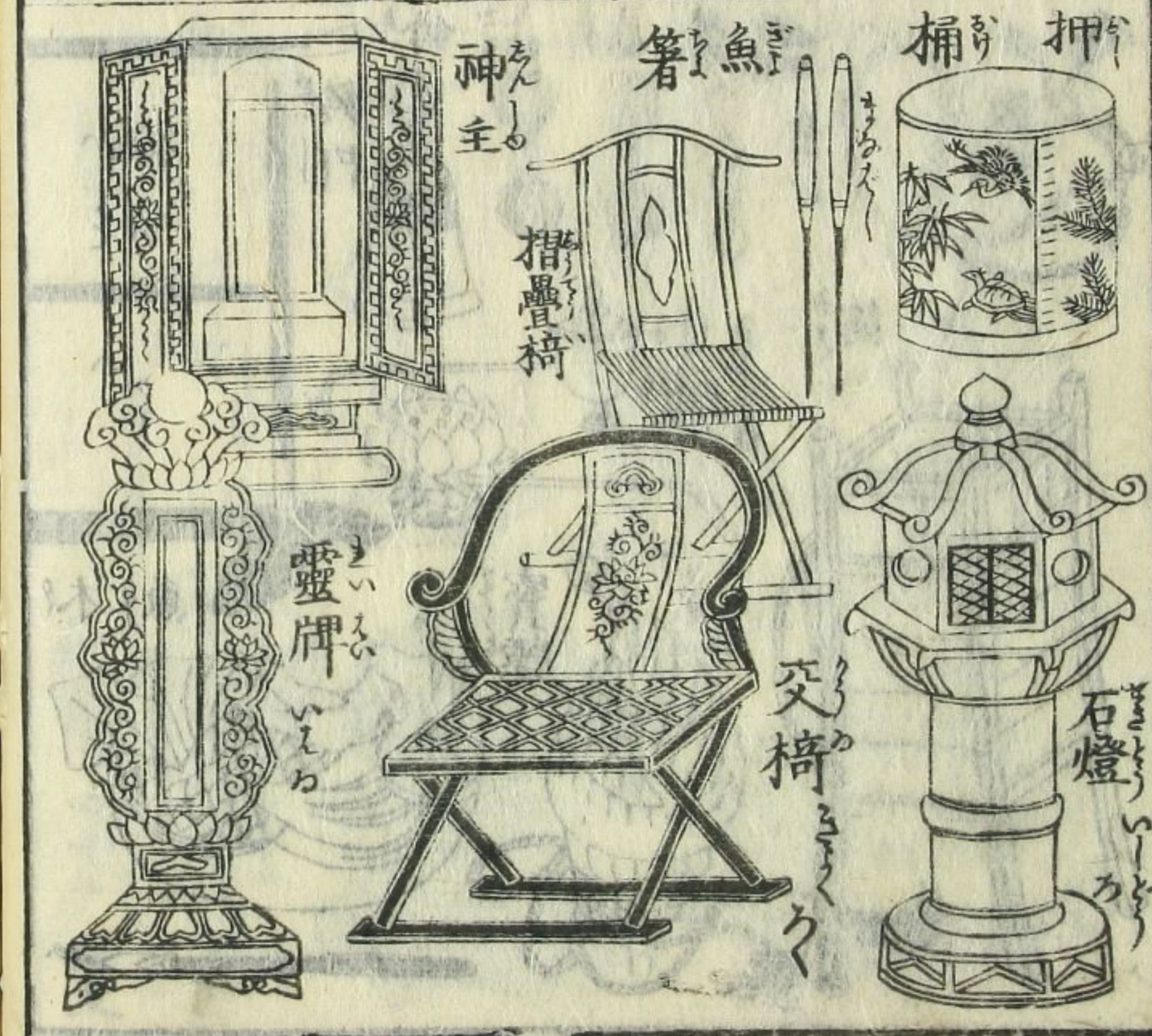


〇 櫛の几案のていひ力や
 食物の櫃と飯櫃といふ
 〇 箱の篋匣より小同ト篋
 とも書かたり櫛のていひ
 〇 傘のあつらあり雨傘の
 あまのさ涼傘のひびき
 〇 杖 鳩杖の鳩物小し
 鳥かりより老人のあふ
 ひせぬより杖のしら
 に地のしら公のしらと
 〇 蓋のしらに車よふ
 〇 蓋のしらに車よふ

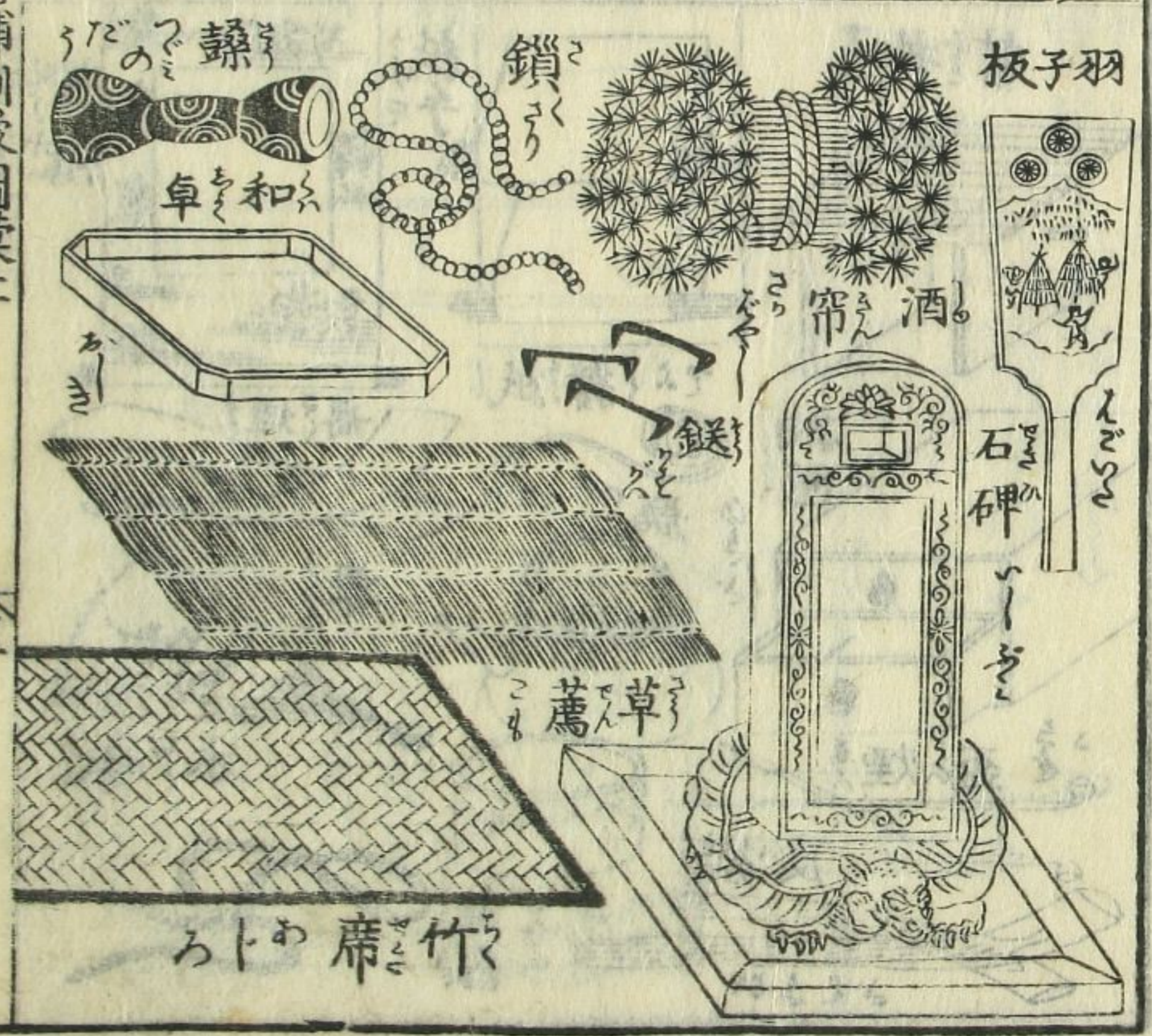


圖書地前記卷四十一

○佛座蓮座あり獅子座須弥座荷葉座岩座唐座等あり
 ○華鬘曼西城の女首のなりあり瓔珞あり頸のなりあり
 ○錫杖梵梵の隙棄羅といふあり
 ○掩の衣服といふあり
 ○衣桁といふあり
 ○木魚といふあり
 ○つらり七の声のたのむあり
 ○つらりて鐘と録といふ神家あり
 ○鈴といふあり
 ○鈴の口金舌力といふ真言修法の具あり



○并獨鈷三鈷五鈷の三色あり
 ○手爐といふあり
 ○是と持して佛あり
 ○數珠といふあり
 ○寶牒といふあり
 ○校尾螺といふあり
 ○も梵貝といふあり
 ○軍陣といふあり
 ○備といふあり
 ○押桶といふあり
 ○石燈といふあり



頁四十四

けくちつとらひらうあり。竹席せきの今いまのわたりあり。簞たね同どう。篋けつ席せきも同どう。
 たるむしり。燈とう襖あはせのけ物けものふぶらうかじ表ひら具ぐとつ道みち背せ燈とう補かへ繪えも書かか
 るうやとたて輪りん補かへとつ紙し手ての物ものと入いる紙しのふらうあり。てんてんのふらわまら
 紙し綾あやのうらうらと。短たん冊ふのふ短たん竹たけ箱はこも探たん策さくも書かへ。色いろ紙しの要いわ
 むらう。鹿か目めとつ。啄たく木もくの表ひら具ぐの組くみ糸いとのうら鳥とりの木きと啄たくとつわ
 ぬらう。啄たく木もくとつ。柳やなぎ宮みやのうら。經きやう歌かの題だい又また硯えん鞠きく冠かんのうら。墓はかばかあり。本ほんの敷敷
 丁てい半はんのうら。わら。抽ひき匣はこのひらう。あり。又また抽ひき斗たうも書かかり。土つち瓶びんの陶たう
 て洗せんり。茶ちやと煮に器きあり。滴たつ器きのひらう。あり。又また書かへ。水みづのうら。あり。
 煙えん不ふ煙えんのうら。とつ。のひらう。但たゞ和わ字じのうら。皺しわ皮かわのうら。あり。のうら。
 刀かみのうら。のうら。あり。墓はかばか皮かわ同どう。寶たから蓋がけの天てん蓋がけのうら。佛ぶつのうら。あり。のうら。
 棺くわんのひらう。あり。死し人にんのうら。あり。同どう棺くわんのうら。外ぐわいと掛かとつ。法はふのうら。
 あり。輜そう車しやあり。今いまの大だい輦ふん竹たけ格かくとつ。あり。僧そう家けのうら。あり。仏ぶつ舎しゃ龍りゆうのうら。



早稲田大学図書館

011688990892